

### 第 3 章 対象事業実施区域及びその周囲の概況

対象事業実施区域及びその周囲の概況について、既存資料を基に把握した。

調査は、主に佐賀県佐賀市（「工事の実施」及び「土地又は工作物の存在及び供用」の全ての影響要因の影響が及ぶ範囲として選定）、同杵島郡白石町、福岡県柳川市（「土地又は工作物の存在及び供用」の内、「航空機の運航」について影響が及ぶ範囲として選定）のうち、図 3-1 に示す範囲を対象とした。なお、一部の調査項目については、この範囲を越えて調査を行った。

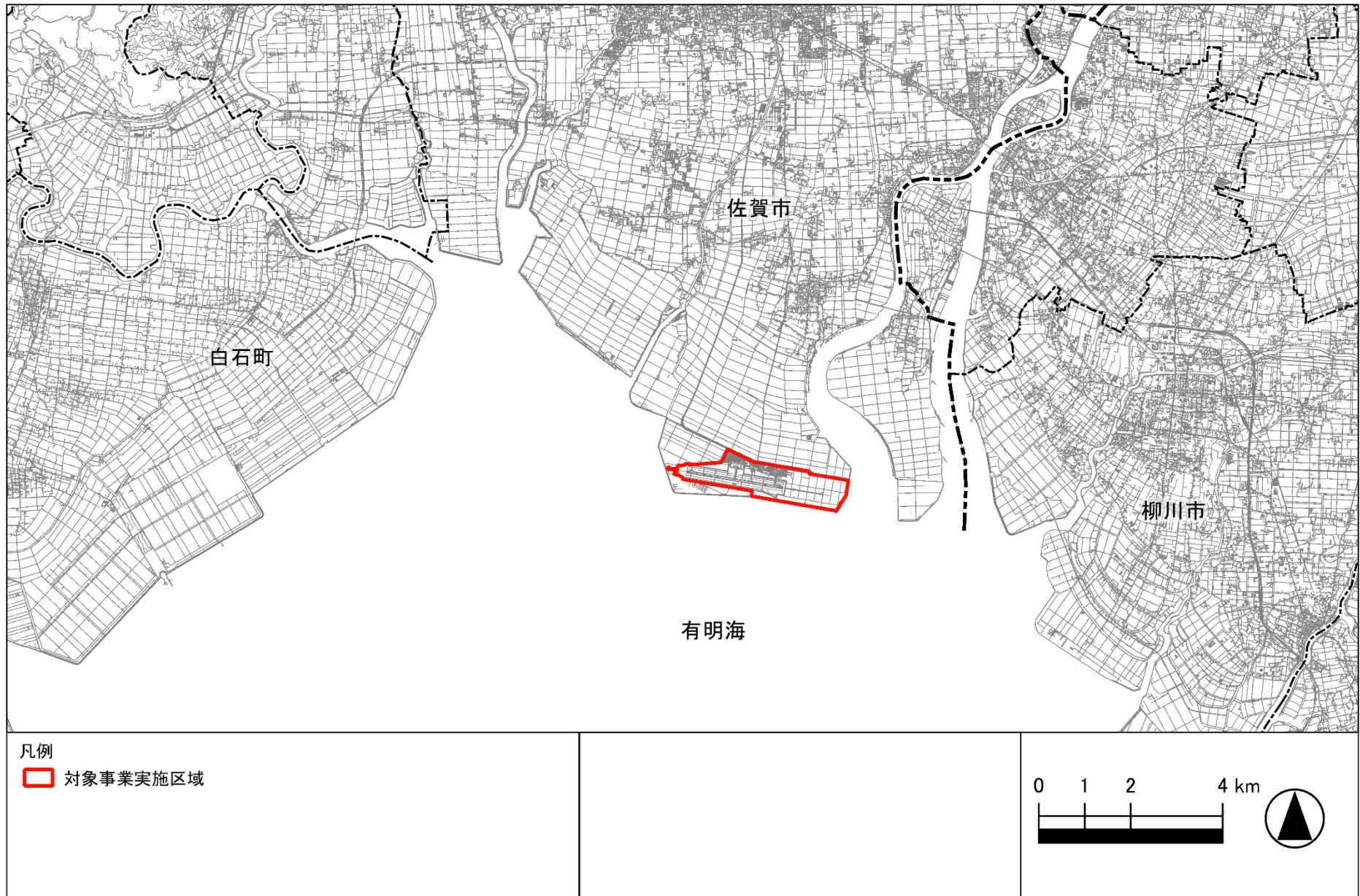


図 3-1 対象事業実施区域及びその周囲

### 3.1 自然的状況

#### 3.1.1 大気環境の状況

##### (1) 気象

過去10年間（平成26年～令和5年）の気象観測結果は表3.1-1に、月別の平均降水量及び平均気温は図3.1-1、各気象観測所の位置図を図3.1-2に示す。対象事業実施区域及びその周囲の気象に関する観測施設としては佐賀航空気象観測所のほか、白石観測所、柳川観測所がある。

過去10年間における年平均気温は佐賀航空気象観測所で16.5℃、白石観測所で16.6℃である。月別の平均気温の最高値は佐賀航空気象観測所で8月の27.8℃、白石観測所で8月の27.9℃であり、最低値は佐賀航空気象観測所で1月の5.6℃、白石観測所で1月の5.5℃である。

過去10年間における年平均降水量は佐賀航空気象観測所で1,774.9mm、白石観測所で1,922.8mm、柳川観測所で1,826.5mmである。月平均降水量の最高値について、佐賀航空気象観測所で7月の373.7mm、白石観測所で7月の385.3mm、柳川観測所で7月の403.7mmが最も多く、最低値について、佐賀航空気象観測所で12月の48.9mm、白石観測所で1月の54.7mm、柳川観測所で12月の48.6mmが最も少ない。

過去10年間における最多風向は佐賀航空気象観測所で南南西（平均風速3.3m/s）、白石観測所で西北西（平均風速2.3m/s）である。

表 3.1-1 (1) 佐賀航空気象観測所における過去 10 年間の気象観測結果

月平均	平均気温	平均降水量	平均風速	最多風向
	[°C]	[mm]	[m/s]	(16 方位)
1 月	5.6	50.1	3.0	西北西
2 月	6.6	65.0	3.5	西北西
3 月	10.6	98.0	3.3	北
4 月	15.0	125.7	3.5	北北東
5 月	19.6	151.0	3.3	南南西
6 月	23.1	240.4	3.4	南南西
7 月	26.9	373.7	3.8	南南西
8 月	27.8	288.6	3.6	南南西
9 月	24.2	192.2	3.2	北北東
10 月	18.5	82.7	3.3	北北東
11 月	13.0	58.8	2.7	北
12 月	7.2	48.9	2.9	西北西
通年	16.5	1,774.9	3.3	南南西

出典：「過去の気象データ検索」(気象庁 HP) <https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>

表 3.1-1 (2) 白石観測所における過去 10 年間の気象観測結果

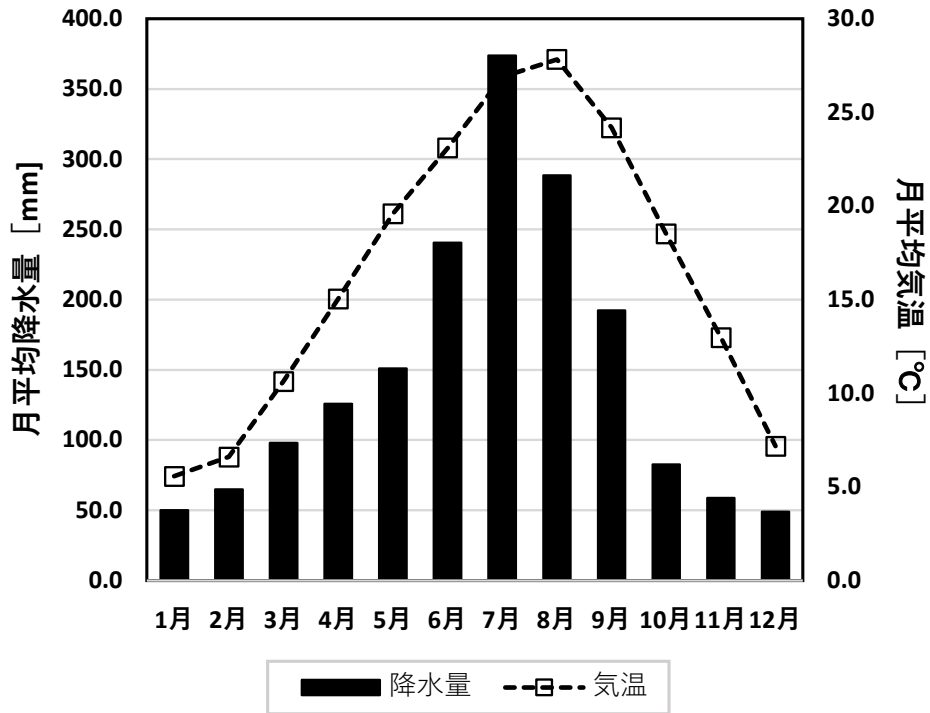
月平均	平均気温	平均降水量	平均風速	最多風向
	[°C]	[mm]	[m/s]	(16 方位)
1 月	5.5	54.7	2.2	西北西
2 月	6.6	67.3	2.5	西北西
3 月	10.7	102.8	2.4	西北西
4 月	15.2	136.9	2.5	西北西
5 月	19.9	141.7	2.5	西北西
6 月	23.3	263.1	2.5	西北西, 北西
7 月	27.1	385.3	2.6	北西
8 月	27.9	345.4	2.3	北西
9 月	24.1	218.5	2.1	北西
10 月	18.6	88.5	2.1	西北西
11 月	13.0	62.3	1.9	西北西
12 月	7.2	56.6	2.2	西北西
通年	16.6	1,922.8	2.3	西北西

出典：「過去の気象データ検索」(気象庁 HP) <https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>

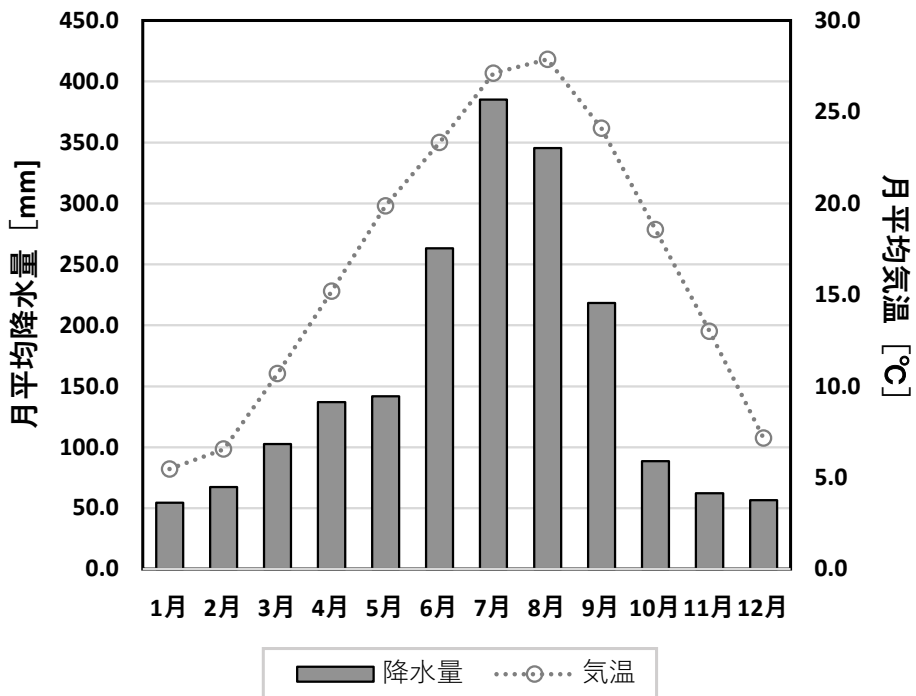
表 3.1-1 (3) 柳川観測所における過去 10 年間の気象観測結果

月平均	平均気温	平均降水量	平均風速	最多風向
	[°C]	[mm]	[m/s]	(16 方位)
1 月	-	49.7	-	-
2 月	-	67.2	-	-
3 月	-	110.4	-	-
4 月	-	132.9	-	-
5 月	-	152.6	-	-
6 月	-	252.7	-	-
7 月	-	403.7	-	-
8 月	-	292.8	-	-
9 月	-	180.9	-	-
10 月	-	77.1	-	-
11 月	-	58.2	-	-
12 月	-	48.6	-	-
通年	-	1,826.5	-	-

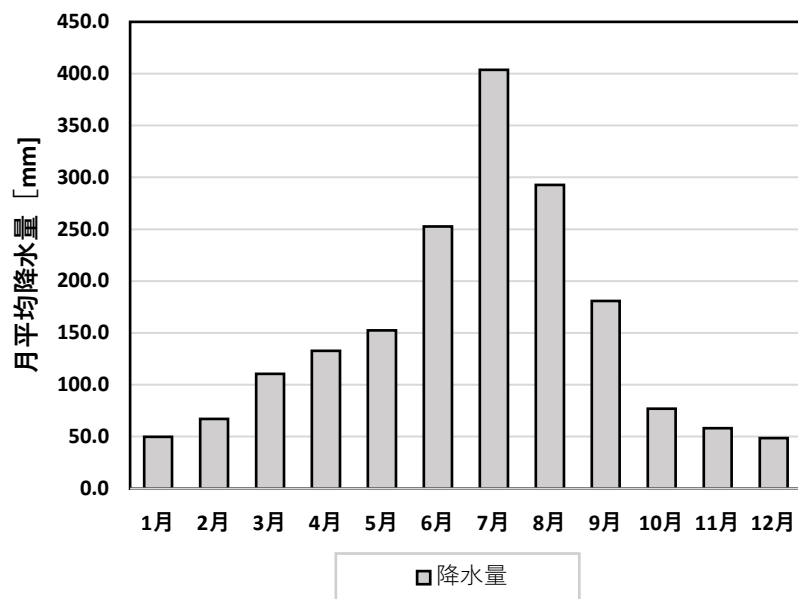
出典：「過去の気象データ検索」(気象庁 HP) <https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>



出典：「過去の気象データ検索」（気象庁 HP）<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>  
 図 3.1-1 (1) 佐賀航空気象観測所における過去 10 年間の月平均降水量及び月平均気温



出典：「過去の気象データ検索」（気象庁 HP）<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>  
 図 3.1-1 (2) 白石観測所における過去 10 年間の月平均降水量及び月平均気温



出典：「過去の気象データ検索」（気象庁 HP）<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>

図 3.1-1 (3) 柳川観測所における過去 10 年間の月平均降水量

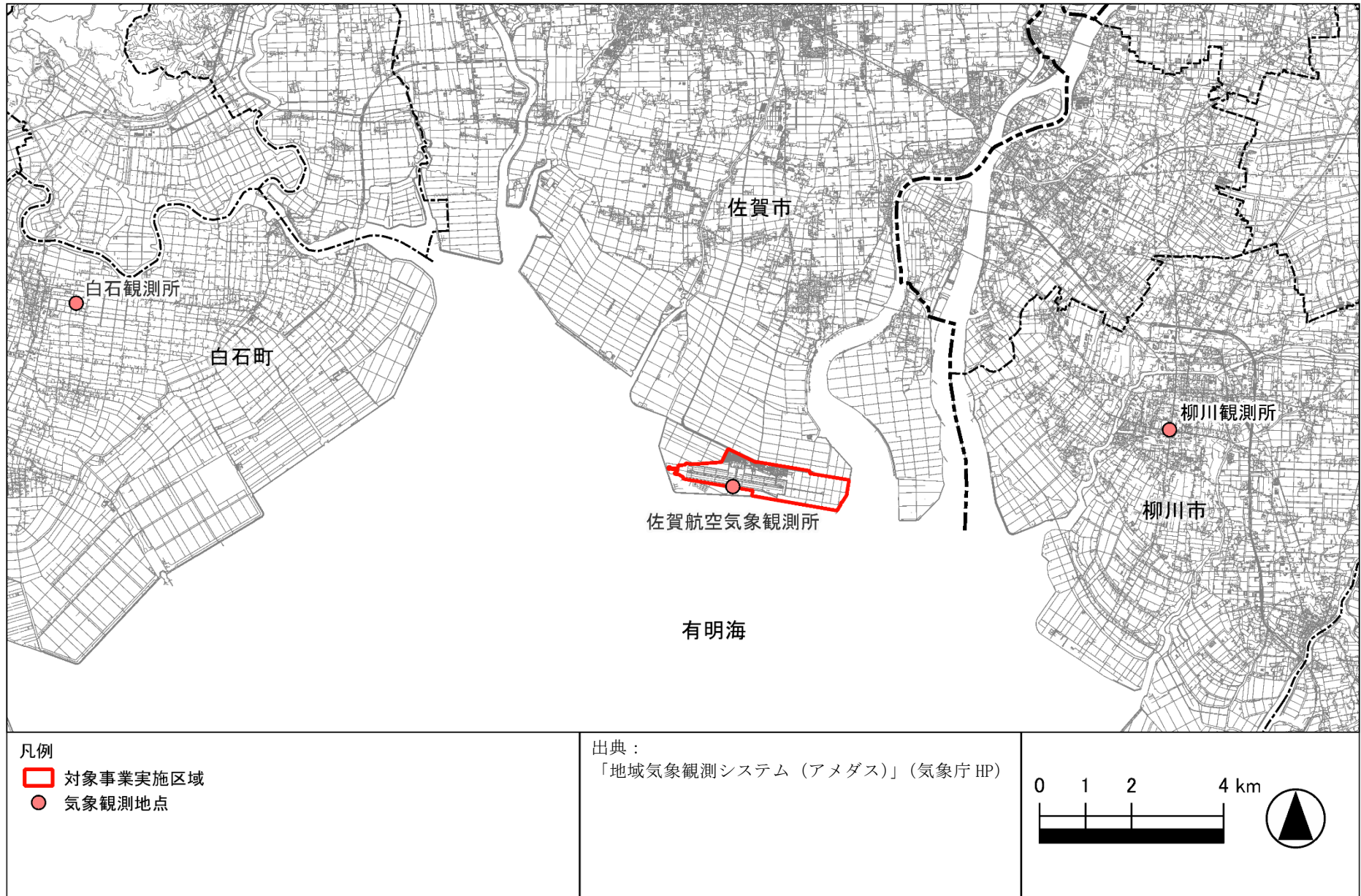


図 3.1-2 気象観測施設位置図

## (2) 大気質

### 1) 佐賀県及び福岡県による調査

対象事業実施区域及びその周囲の5カ所において、佐賀県及び福岡県により大気質の測定を行っている。対象事業実施区域及びその周囲の観測地点は図 3.1-3 に示すとおりである。対象事業実施区域及びその周囲の観測地点は、一般環境大気測定局である佐賀局、白石局及び柳川局、自動車排出ガス測定局である兵庫局が挙げられる。

大気質測定項目は表 3.1-2 に示すとおりであり、二酸化硫黄、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、二酸化窒素、光化学オキシダント、非メタン炭化水素、ダイオキシン類、微小粒子状物質、有害大気汚染物質（ベンゼン・トリクロロエチレン・テトラクロロエチレン・ジクロロメタン）の測定が行われている。

表 3.1-2 各測定局における大気質測定項目

No.	測定局名称	局管理	区分	測定項目								
				二酸化硫黄	一酸化炭素	浮遊粒子状物質	二酸化窒素	光化学オキシダント	非メタン炭化水素	ダイオキシン類	微小粒子状物質	有害大気汚染物質
1	佐賀	佐賀県	一般環境大気測定局	○		○	○	○	○	○	○	○
2	白石	佐賀県		○		○	○				○	
3	柳川	福岡県		○		○	○	○			○	
3'	柳川	福岡県	一般環境調査調査地点							○		
4	兵庫	佐賀県	自動車排出ガス測定局		○	○	○					

出典：「令和4年度大気環境調査結果」（佐賀県 HP）

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00399410/index.html>

「令和2年度ダイオキシン類環境調査結果」（佐賀県 HP）

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00350717/index.html>

「公害関係測定結果（令和5年度版）」（福岡県 HP）

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryo/kougaisokutei05.html>



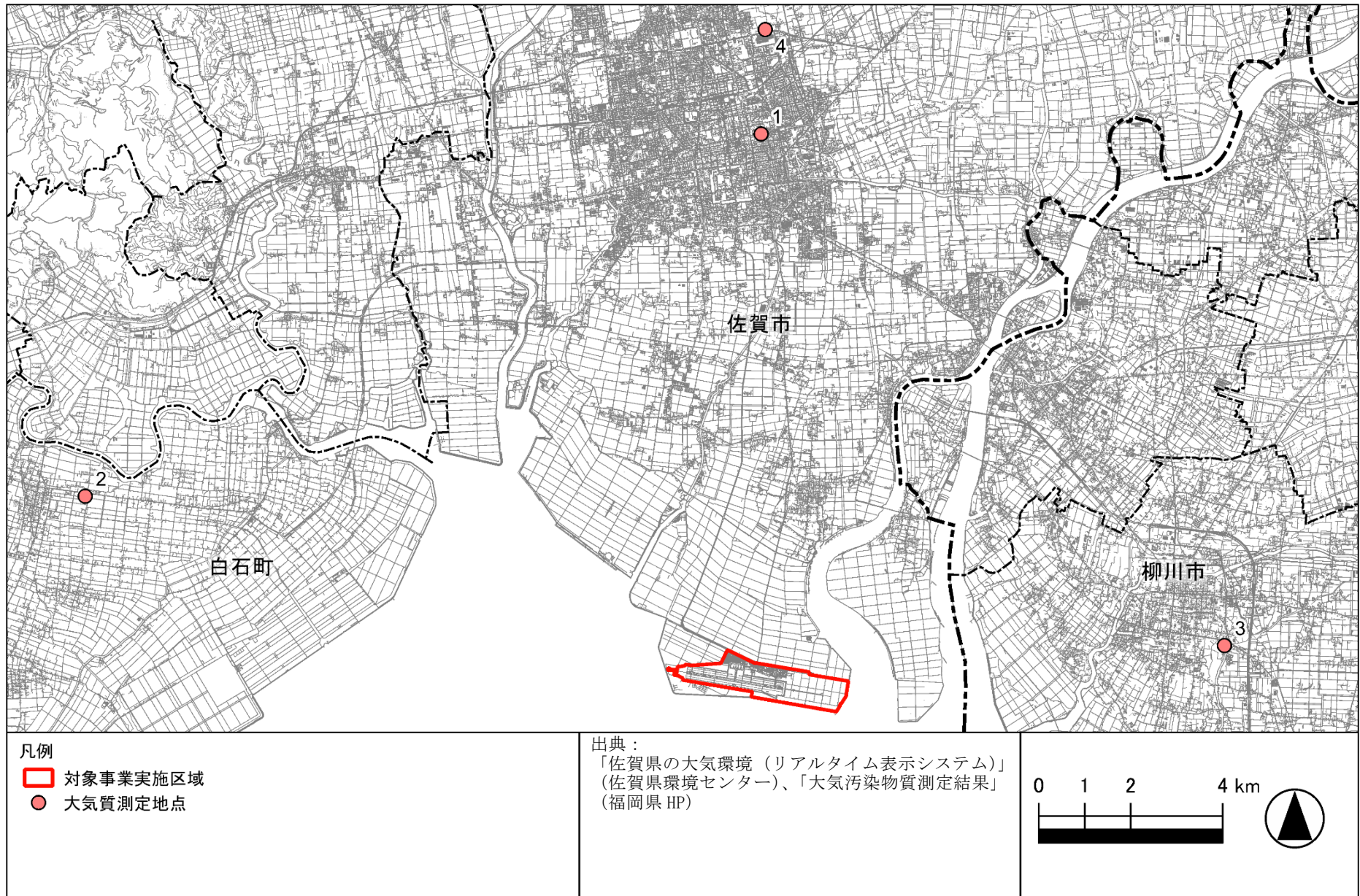


図 3.1-3 大気質測定局位置図

(ア) 二酸化硫黄

二酸化硫黄の測定結果は表 3.1-3 に、過去 5 年間に於ける経年変化（年平均値）は表 3.1-4 及び図 3.1-4 に示すとおりである。日平均値の 2%除外値は、佐賀局において 0.003ppm、白石局において 0.003ppm、柳川局において 0.003ppm であり、いずれの地点においても環境基準（1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、1 時間値が 0.1ppm 以下）を満足していた。

また、過去 5 年間に於ける経年変化（年平均値）においても、環境基準の値を下回る範囲で推移しており、おおむね横ばい傾向である。

表 3.1-3 二酸化硫黄の測定結果

No.	測定局	1 時間値 の最高値	1 時間値が 0.1ppm を超え た時間数とそ の割合		日平均値が 0.04ppm を超えた日数、その 割合及び 2 日以上連 続したことの有無			日平均値の 2%除外値	環境基準の長 期的評価によ る日平均値が 0.04ppm を 超えた日数
		ppm	時間	%	日	%	有無	ppm	日
1	佐賀	0.033	0	0.0	0	0.0	無	0.003	0
2	白石	0.026	0	0.0	0	0.0	無	0.003	0
3	柳川	0.028	0	0.0	0	0.0	無	0.003	0

注 1. 令和 4 年度の測定結果を示す。

出典：「令和 4 年度大気環境調査結果」（佐賀県 HP）

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00399410/index.html>

「公害関係測定結果（令和 5 年度版）」（福岡県 HP）

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryo/kougaisokutei05.html>

表 3.1-4 過去 5 年間に於ける二酸化硫黄の経年変化（年平均値）

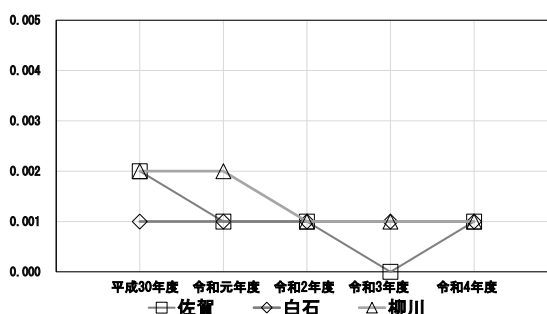
No.	測定局	年平均値[ppm]				
		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
1	佐賀	0.002	0.001	0.001	0.000	0.001
2	白石	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
3	柳川	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001

出典：「平成 30 年度～令和 4 年度大気環境調査結果」（佐賀県 HP）

<https://www.pref.saga.lg.jp/list02739.html>

「公害関係測定結果（令和 5 年度版）」（福岡県 HP）

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryo/kougaisokutei05.html>



出典：「平成 30 年度～令和 4 年度大気環境調査結果」（佐賀県 HP）

<https://www.pref.saga.lg.jp/list02739.html>

「公害関係測定結果（令和 5 年度版）」（福岡県 HP）

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryo/kougaisokutei05.html>

図 3.1-4 過去 5 年間に於ける二酸化硫黄の経年変化（年平均値）

(イ) 一酸化炭素

一酸化炭素の測定結果は表 3.1-5 に、過去 5 年間ににおける経年変化（年平均値）は表 3.1-6 及び図 3.1-5 に示すとおりである。日平均値の 2% 除外値は兵庫局において 0.4ppm であり、環境基準（1 時間値の 1 日平均値が 10ppm 以下であり、かつ、1 時間値の 8 時間平均値が 20ppm 以下）を満足していた。

また、過去 5 年間ににおける経年変化（年平均値）においても、環境基準の値を下回る範囲で推移しており、おおむね横ばい傾向である。

表 3.1-5 一酸化炭素の測定結果

No.	測定局	1 時間値 の最高 値	8 時間値が 20ppm を 超えた回数とその割 合		日平均値が 10ppm を 超えた日数、その割 合及び 2 日以上連続 したことの有無			日平均値 の 2% 除 外値	環境基準の長期 的評価による日 平均値が 10ppm を超えた日数
		ppm	回	%	日	%	有無	ppm	日
4	兵庫	1.1	0	0.0	0	0.0	無	0.4	0

注 1. 令和 4 年度の測定結果を示す。

出典：「令和 4 年度大気環境調査結果」（佐賀県 HP）

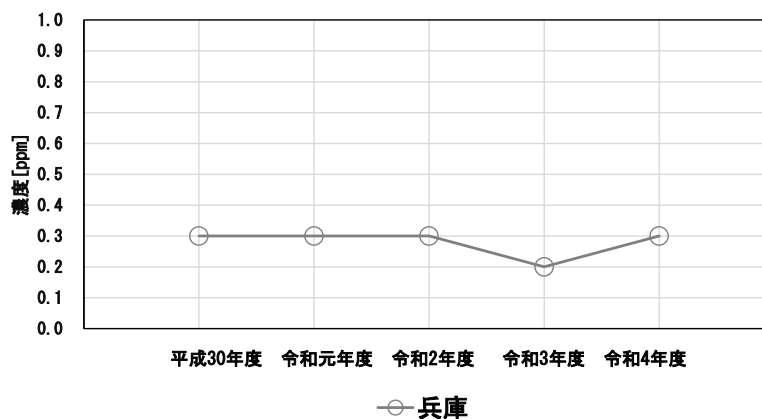
<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00399410/index.html>

表 3.1-6 過去 5 年間ににおける一酸化炭素の経年変化（年平均値）

No.	測定局	年平均値 [ppm]				
		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
4	兵庫	0.3	0.3	0.3	0.2	0.3

出典：「平成 30 年度～令和 4 年度大気環境調査結果」（佐賀県 HP）

<https://www.pref.saga.lg.jp/list02739.html>



出典：「平成 30 年度～令和 4 年度大気環境調査結果」（佐賀県 HP）

<https://www.pref.saga.lg.jp/list02739.html>

図 3.1-5 過去 5 年間ににおける一酸化炭素の経年変化（年平均値）

(ウ) 浮遊粒子状物質

浮遊粒子状物質の測定結果は表 3.1-7 に、過去 5 年間における経年変化（年平均値）は表 3.1-8 及び図 3.1-6 に示すとおりである。日平均値の 2% 除外値は、佐賀局において 0.030mg/m<sup>3</sup>、白石局において 0.034mg/m<sup>3</sup>、柳川局において 0.034mg/m<sup>3</sup>、兵庫局において 0.032mg/m<sup>3</sup> であり、いずれの地点においても環境基準（1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m<sup>3</sup> 以下であり、かつ、1 時間値が 0.20mg/m<sup>3</sup> 以下）を満足していた。

また、過去 5 年間における経年変化（年平均値）においても、環境基準の値を下回る範囲で推移しており、おおむね横ばいもしくは減少傾向にある。

表 3.1-7 浮遊粒子状物質の測定結果

No.	測定局	1 時間値の最高値 mg/m <sup>3</sup>	1 時間値が 0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数とその割合		日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数、その割合及び 2 日以上連続したことの有無			日平均値の 2% 除外値 mg/m <sup>3</sup>	環境基準の長期的評価による日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数 日
			時間	%	日	%	有無		
1	佐賀	0.066	0	0.0	0	0.0	無	0.030	0
2	白石	0.158	0	0.0	0	0.0	無	0.034	0
3	柳川	0.089	0	0.0	0	0.0	無	0.034	0
4	兵庫	0.066	0	0.0	0	0.0	無	0.032	0

注 1. 令和 4 年度の測定結果を示す。

出典：「令和 4 年度大気環境調査結果」（佐賀県 HP）

[https://www.pref.saga.lg.jp/ki\\_ji00399410/index.html](https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji00399410/index.html)

「公害関係測定結果（令和 5 年度版）」（福岡県 HP）

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryo/kougaisokutei05.html>

表 3.1-8 過去 5 年間における浮遊粒子状物質の経年変化（年平均値）

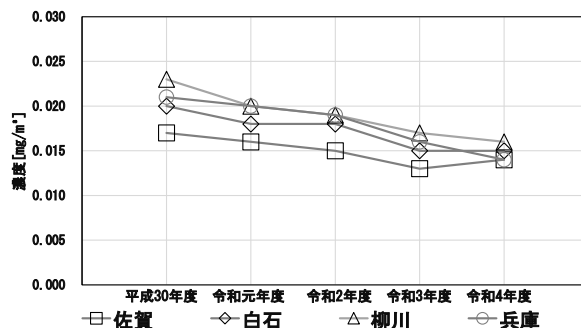
No.	測定局	年平均値 [mg/m <sup>3</sup> ]				
		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
1	佐賀	0.017	0.016	0.015	0.013	0.014
2	白石	0.020	0.018	0.018	0.015	0.015
3	柳川	0.023	0.020	0.019	0.017	0.016
4	兵庫	0.021	0.020	0.019	0.016	0.014

出典：「平成 30 年度～令和 4 年度大気環境調査結果」（佐賀県 HP）

<https://www.pref.saga.lg.jp/list02739.html>

「公害関係測定結果（令和 5 年度版）」（福岡県 HP）

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryo/kougaisokutei05.html>



出典：「平成 30 年度～令和 4 年度大気環境調査結果」（佐賀県 HP）

<https://www.pref.saga.lg.jp/list02739.html>

「公害関係測定結果（令和 5 年度版）」（福岡県 HP）

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryo/kougaisokutei05.html>

図 3.1-6 過去 5 年間における浮遊粒子状物質の経年変化（年平均値）

(エ) 二酸化窒素

二酸化窒素の測定結果は表 3.1-9 に、過去 5 年間に於ける経年変化（年平均値）は表 3.1-10 及び図 3.1-7 に示すとおりである。日平均値の 98% 値は、佐賀局において 0.012ppm、白石局において 0.009ppm、柳川局において 0.011ppm、兵庫局において 0.015ppm であり、いずれの地点においても環境基準（1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下）を満足していた。

また、過去 5 年間に於ける経年変化（年平均値）においても、環境基準の値を下回る範囲で推移しており、おおむね横ばいもしくは減少傾向にある。

表 3.1-9 二酸化窒素の測定結果

No.	測定局	1 時間値の最高値	日平均値が 0.06ppm を超えた日数とその割合		日平均値が 0.04ppm 以上 0.06ppm 以下の日数とその割合		日平均値の 98% 値
		ppm	日	%	日	%	ppm
1	佐賀	0.033	0	0.0	0	0.0	0.012
2	白石	0.019	0	0.0	0	0.0	0.009
3	柳川	0.024	0	0.0	0	0.0	0.011
4	兵庫	0.034	0	0.0	0	0.0	0.015

注 1. 令和 4 年度の測定結果を示す。

出典：「令和 4 年度大気環境調査結果」（佐賀県 HP）

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00399410/index.html>

「公害関係測定結果（令和 5 年度版）」（福岡県 HP）

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryō/kougaisokutei05.html>

表 3.1-10 過去 5 年間に於ける二酸化窒素の経年変化（年平均値）

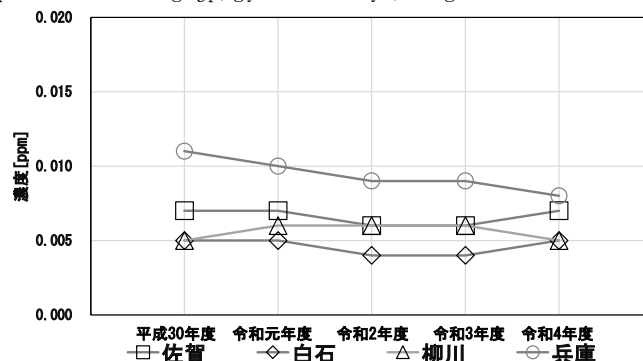
No.	測定局	年平均値 [ppm]				
		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
1	佐賀	0.007	0.007	0.006	0.006	0.005
2	白石	0.005	0.005	0.004	0.004	0.004
3	柳川	0.005	0.006	0.006	0.006	0.005
4	兵庫	0.010	0.009	0.009	0.008	0.007

出典：「平成 30 年度～令和 4 年度大気環境調査結果」（佐賀県 HP）

<https://www.pref.saga.lg.jp/list02739.html>

「公害関係測定結果（令和 5 年度版）」（福岡県 HP）

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryō/kougaisokutei05.html>



出典：「平成 30 年度～令和 4 年度大気環境調査結果」（佐賀県 HP）

<https://www.pref.saga.lg.jp/list02739.html>

「公害関係測定結果（令和 5 年度版）」（福岡県 HP）

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryō/kougaisokutei05.html>

図 3.1-7 過去 5 年間に於ける二酸化窒素の経年変化（年平均値）

### (オ) 光化学オキシダント

光化学オキシダントの測定結果は表 3.1-11 に、過去 5 年間における経年変化（年平均値）は表 3.1-12 及び図 3.1-8 に示すとおりである。昼間の 1 時間値が 0.06ppm を超えた時間数は、佐賀局において 348 時間、柳川局において 340 時間であり、環境基準（1 時間値が 0.06ppm 以下）の値を超過していた。

一方で、過去 5 年間における経年変化（年平均値）においては、環境基準の値を下回る範囲で推移しており、おおむね横ばいである。

表 3.1-11 光化学オキシダントの測定結果

No.	測定局	年平均値 (昼間の 1 時間値)	昼間の 1 時間値 の最高値	昼間の 1 時間値が 0.06ppm を 超えた日数と時間数	
		ppm	ppm	日	時間
1	佐賀	0.036	0.098	66	348
3	柳川	0.034	0.091	62	340

注 1. 令和 4 年度の測定結果を示す。

出典：「令和 4 年度大気環境調査結果」（佐賀県 HP）

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00399410/index.html>

「公害関係測定結果（令和 5 年度版）」（福岡県 HP）

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryo/kougaisokutei05.html>

表 3.1-12 過去 5 年間における光化学オキシダントの経年変化（年平均値）

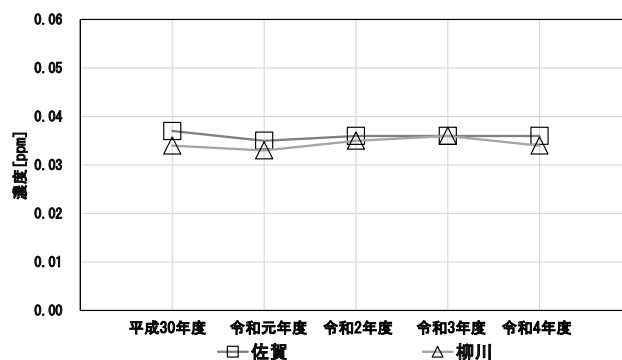
No.	測定局	年平均値（昼間の 1 時間値） [ppm]				
		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
1	佐賀	0.037	0.035	0.036	0.036	0.036
3	柳川	0.034	0.033	0.035	0.036	0.034

出典：「平成 30 年度～令和 4 年度大気環境調査結果」（佐賀県 HP）

<https://www.pref.saga.lg.jp/list02739.html>

「公害関係測定結果（令和 5 年度版）」（福岡県 HP）

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryo/kougaisokutei05.html>



出典：「平成 30 年度～令和 4 年度大気環境調査結果」（佐賀県 HP）

<https://www.pref.saga.lg.jp/list02739.html>

「公害関係測定結果（令和 5 年度版）」（福岡県 HP）

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryo/kougaisokutei05.html>

図 3.1-8 過去 5 年間における光化学オキシダントの経年変化（年平均値）

(カ) 非メタン炭化水素

非メタン炭化水素の測定結果は表 3.1-13 に、過去 5 年間ににおける経年変化（年平均値）は表 3.1-14 及び図 3.1-9 に示すとおりである。指針値（0.20ppmC ～0.31ppmC の範囲）を超えた日数は 1 日であり、過去 5 年間ににおける経年変化（年平均値）においては、指針値の範囲を下回る値で推移していた。

表 3.1-13 非メタン炭化水素の測定結果

No.	測定局	年平均値	6～9 時における 年平均値	6～9 時 3 時間 平均値の最高値	6～9 時 3 時間平均値が 0.31ppmC を超えた日数
		ppmC	ppmC	ppmC	日
1	佐賀	0.08	0.09	0.55	1

注 1. 令和 4 年度の測定結果を示す。

出典：「令和 4 年度大気環境調査結果」（佐賀県 HP）

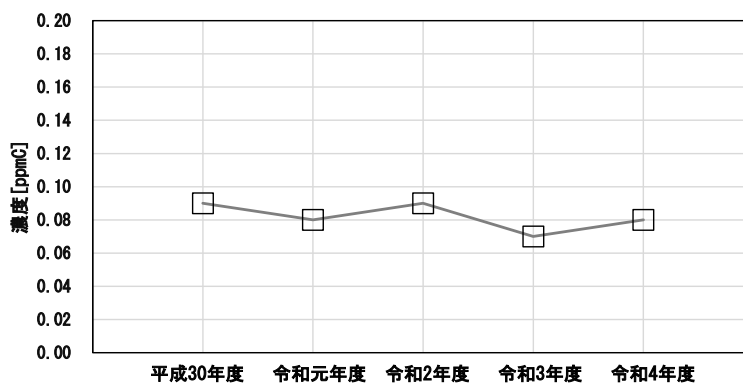
<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00399410/index.html>

表 3.1-14 過去 5 年間ににおける非メタン炭化水素の経年変化（年平均値）

No.	測定局	年平均値 [ppmC]				
		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
1	佐賀	0.09	0.08	0.09	0.07	0.08

出典：「平成 30 年度～令和 4 年度大気環境調査結果」（佐賀県 HP）

<https://www.pref.saga.lg.jp/list02739.html>



□ 佐賀

出典：「平成 30 年度～令和 4 年度大気環境調査結果」（佐賀県 HP）

<https://www.pref.saga.lg.jp/list02739.html>

図 3.1-9 過去 5 年間ににおける非メタン炭化水素の経年変化（年平均値）

(キ) ダイオキシン類

ダイオキシン類の測定結果は表 3.1-15 に、過去 5 年間に於ける経年変化(年平均値)は表 3.1-16 及び図 3.1-10 に示すとおりである。年平均値は、佐賀局において 0.0082pg-TEQ/m<sup>3</sup>、柳川局において 0.018pg-TEQ/m<sup>3</sup> であり、いずれの地点においても環境基準(0.6pg-TEQ/m<sup>3</sup>以下)を満足していた。

また、過去 5 年間に於ける経年変化(年平均値)においても、環境基準を満足していた。

表 3.1-15 ダイオキシン類の測定結果

No.	測定局	第 1 回目	第 2 回目	年平均値
		pg-TEQ/m <sup>3</sup>	pg-TEQ/m <sup>3</sup>	pg-TEQ/m <sup>3</sup>
1	佐賀	0.0033	0.013	0.0082
3	柳川	0.011	0.024	0.018

注 1. 佐賀局は令和 2 年度、柳川局は令和 3 年度の測定結果を示す。

出典：「令和 2 年度ダイオキシン類環境調査結果」(佐賀県 HP)

[https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00350717/3\\_50717\\_225411\\_up\\_cl1s1k6v.pdf](https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00350717/3_50717_225411_up_cl1s1k6v.pdf)

「令和 3 年度ダイオキシン類調査結果について」(福岡県 HP)

[https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/life/659696\\_61508879\\_misc.pdf](https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/life/659696_61508879_misc.pdf)

表 3.1-16 過去 5 年間に於けるダイオキシン類の経年変化(年平均値)

No.	測定局	年平均値[pg-TEQ/m <sup>3</sup> ]				
		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
1	佐賀	0.014	0.012	0.012	0.0082	-
3	柳川	0.019	0.016	0.015	0.030	0.018

注 1. 佐賀局における令和 3 年度調査は、佐賀局では実施されていない。

出典：「平成 29 年度～令和 3 年度ダイオキシン類環境調査結果」(佐賀県 HP)

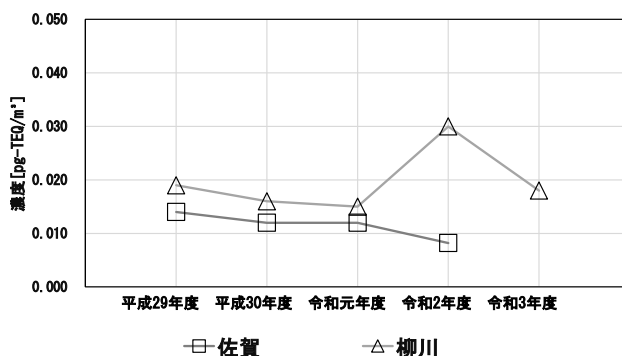
<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00350717/index.html>

「平成 29 年度～令和元年度ダイオキシン類の調査結果について」(福岡県 HP)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/dioxintop.html>

「令和 2 年度～令和 3 年度ダイオキシン類の測定結果について」(福岡県 HP)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/dioxintop.html>



出典：「平成 29 年度～令和 3 年度ダイオキシン類環境調査結果」(佐賀県 HP)

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00350717/index.html>

「平成 29 年度～令和元年度ダイオキシン類の調査結果について」(福岡県 HP)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/dioxintop.html>

「令和 2 年度～令和 3 年度ダイオキシン類の測定結果について」(福岡県 HP)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/dioxintop.html>

図 3.1-10 過去 5 年間に於けるダイオキシン類の経年変化(年平均値)



(ク) 微小粒子状物質

微小粒子状物質の測定結果は表 3.1-17 に、過去 5 年間における経年変化(年平均値)は表 3.1-18 及び図 3.1-11 に示すとおりである。年平均値は佐賀局において  $10.7 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 、白石局において  $12.7 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 、柳川局において  $10.6 \mu\text{g}/\text{m}^3$  であったが、日平均値が  $35.0 \mu\text{g}/\text{m}^3$  を超えた日数が佐賀局で 2 日、白石局で 3 日、柳川局で 1 日あり、全ての地点において環境基準(1 年平均値が  $15.0 \mu\text{g}/\text{m}^3$  以下であり、かつ、1 日平均値が  $35.0 \mu\text{g}/\text{m}^3$  以下)を超過していた。一方、年間における経年変化(年平均値)をみると、いずれの測定局も減少傾向にあり、佐賀局と柳川局においては環境基準を過去 5 年間全ての年度で下回っていた。

表 3.1-17 微小粒子状物質の測定結果

No.	測定局	年平均値	日平均値の 98%値	1 時間値の最高値	日平均値が $35.0 \mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数とその割合	
		$\mu\text{g}/\text{m}^3$	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	日	%
1	佐賀	10.7	23.6	55	2	0.6
2	白石	12.7	28.7	122	3	0.8
3	柳川	10.6	23.8	-	1	0.3

注 1. 令和 4 年度の測定結果を示す。

出典：「令和 4 年度大気環境調査結果」(佐賀県 HP)

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00399410/index.html>

「公害関係測定結果(令和 5 年度版)」(福岡県 HP)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryo/kougaisokutei05.html>

表 3.1-18 過去 5 年間における微小粒子状物質の経年変化(年平均値)

No.	測定局	年平均値 [ $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ]				
		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
1	佐賀	11.3	13.7	11.9	10.7	10.7
2	白石	15.2	14.7	13.2	12.5	12.7
3	柳川	13.2	11.6	11.0	11.1	10.6

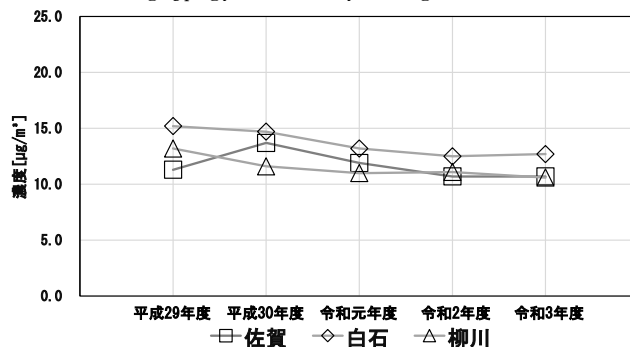
注 1. 佐賀局において令和 2 年 5 月は欠測となった。

出典：「令和 4 年度大気環境調査結果」(佐賀県 HP)

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00399410/index.html>

「公害関係測定結果(令和 5 年度版)」(福岡県 HP)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryo/kougaisokutei05.html>



出典：「平成 30 年度～令和 4 年度大気環境調査結果」(佐賀県 HP)

<https://www.pref.saga.lg.jp/list02739.html>

「公害関係測定結果(令和 5 年度版)」(福岡県 HP)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryo/kougaisokutei05.html>

図 3.1-11 過去 5 年間における微小粒子状物質の経年変化(年平均値)

(ケ) 有害大気汚染物質（ベンゼン・トリクロロエチレン・テトラクロロエチレン・ジクロロメタン）

有害大気汚染物質（ベンゼン・トリクロロエチレン・テトラクロロエチレン・ジクロロメタン）の過去5年間に於ける経年変化(年平均値)は表 3.1-19～表 3.1-22 及び図 3.1-12～図 3.1-15 に示すとおりである。ベンゼンについては、佐賀局において0.54～0.67 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ で推移していた。トリクロロエチレンについては、佐賀局において0.012～0.027 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ で推移していた。テトラクロロエチレンについては、佐賀局において0.020～0.031 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ で推移しており、ジクロロメタンについては、佐賀局において0.87～1.30 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ で推移していた。

また、過去5年間に於いて、環境基準（ベンゼン：1年平均値が0.003 $\text{mg}/\text{m}^3$ 以下、トリクロロエチレン：1年平均値が0.13 $\text{mg}/\text{m}^3$ 以下、テトラクロロエチレン：1年平均値が0.2 $\text{mg}/\text{m}^3$ 以下、ジクロロメタン：1年平均値が0.15 $\text{mg}/\text{m}^3$ 以下）を満足していた。

表 3.1-19 過去5年間に於ける有害大気汚染物質（ベンゼン）の経年変化

No.	測定局	年平均値 [ $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ]				
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1	佐賀	0.67	0.65	0.54	0.56	0.54

出典：「平成30年度～令和4年度有害大気汚染物質調査」（佐賀県HP）  
[https://www.pref.saga.lg.jp/ki\\_ji00352775/index.html](https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji00352775/index.html)

表 3.1-20 過去5年間に於ける有害大気汚染物質（トリクロロエチレン）の経年変化

No.	測定局	年平均値 [ $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ]				
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1	佐賀	0.016	0.027	0.015	0.012	0.017

出典：「平成30年度～令和4年度有害大気汚染物質調査」（佐賀県HP）  
[https://www.pref.saga.lg.jp/ki\\_ji00352775/index.html](https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji00352775/index.html)

表 3.1-21 過去5年間に於ける有害大気汚染物質（テトラクロロエチレン）の経年変化

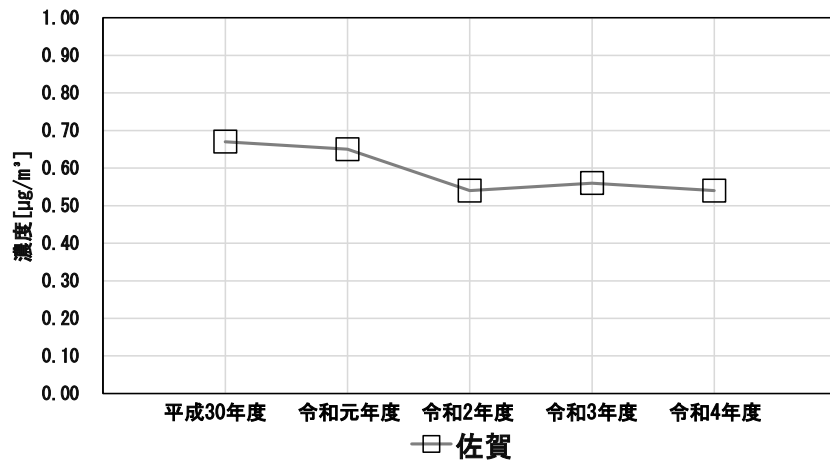
No.	測定局	年平均値 [ $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ]				
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1	佐賀	0.020	0.030	0.026	0.031	0.021

出典：「平成30年度～令和4年度有害大気汚染物質調査」（佐賀県HP）  
[https://www.pref.saga.lg.jp/ki\\_ji00352775/index.html](https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji00352775/index.html)

表 3.1-22 過去5年間に於ける有害大気汚染物質（ジクロロメタン）の経年変化

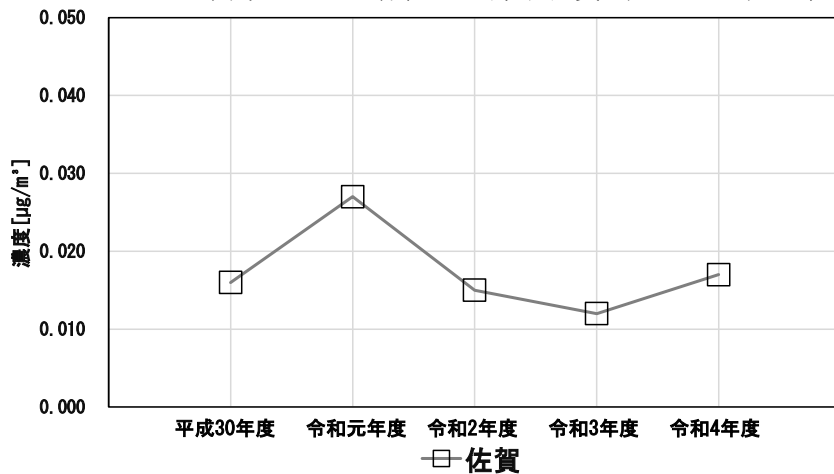
No.	測定局	年平均値 [ $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ]				
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1	佐賀	1.30	1.20	0.87	1.00	0.90

出典：「平成30年度～令和4年度有害大気汚染物質調査」（佐賀県HP）  
[https://www.pref.saga.lg.jp/ki\\_ji00352775/index.html](https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji00352775/index.html)



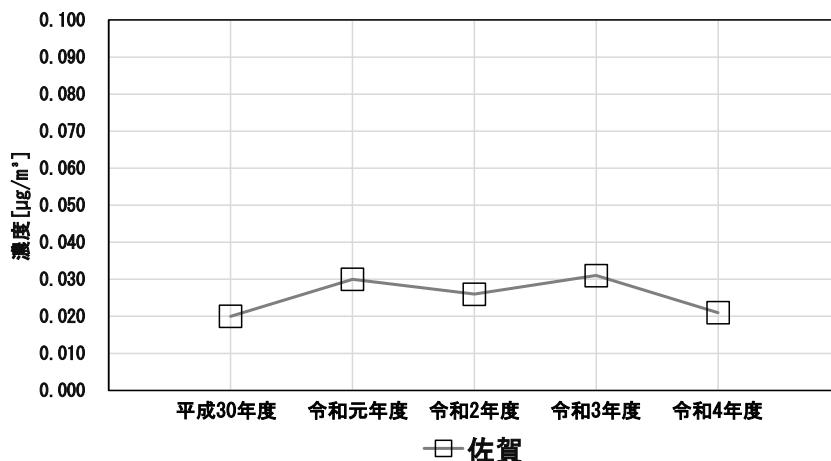
出典：「平成 30 年度～令和 4 年度大気環境調査結果」（佐賀県 HP）  
<https://www.pref.saga.lg.jp/list02739.html>

図 3.1-12 過去 5 年間に於ける有害大気汚染物質（ベンゼン）の経年変化



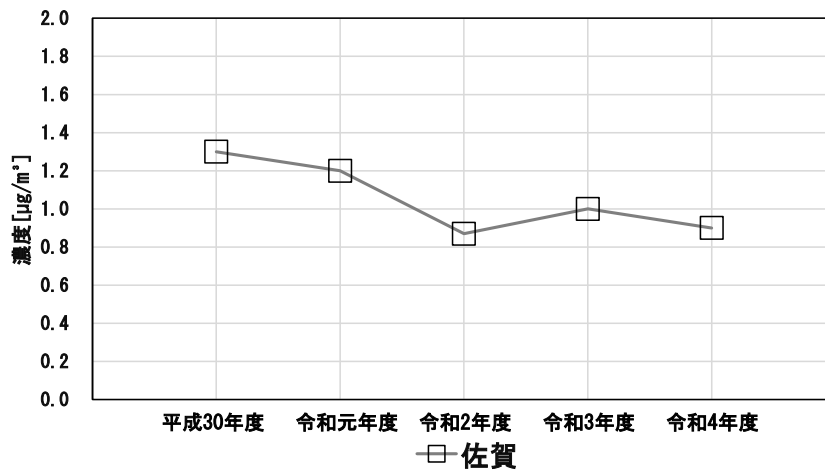
出典：「平成 30 年度～令和 4 年度大気環境調査結果」（佐賀県 HP）  
<https://www.pref.saga.lg.jp/list02739.html>

図 3.1-13 過去 5 年間に於ける有害大気汚染物質（トリクロロエチレン）の経年変化



出典：「平成 30 年度～令和 4 年度大気環境調査結果」（佐賀県 HP）  
<https://www.pref.saga.lg.jp/list02739.html>

図 3.1-14 過去 5 年間に於ける有害大気汚染物質（テトラクロロエチレン）の経年変化



出典：「平成 30 年度～令和 4 年度大気環境調査結果」（佐賀県 HP）

<https://www.pref.saga.lg.jp/list02739.html>

図 3.1-15 過去 5 年間に於ける有害大気汚染物質（ジクロロメタン）の経年変化

## 2) 佐賀空港事務所による調査

佐賀空港事務所では空港の周囲1カ所において大気質の測定を行っており、測定地点は図 3.1-21 に示すとおりである。

二酸化硫黄、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、二酸化窒素及び光化学オキシダントの測定結果は表 3.1-23、過去4年間における経年変化（年平均値）は表 3.1-24 及び図 3.1-16～図 3.1-20 に示すとおりであり、いずれの項目においても環境基準を満足していた。

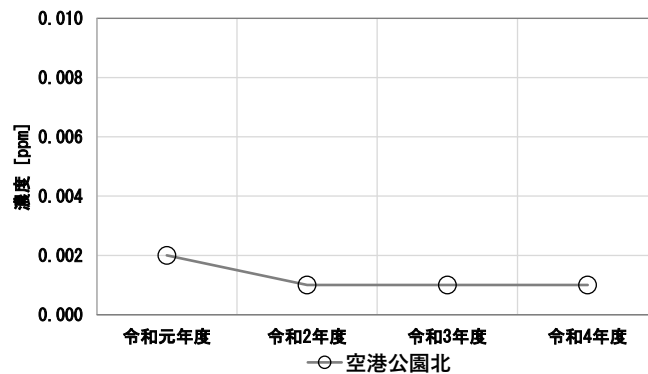
表 3.1-23 佐賀空港事務所による大気質調査結果（令和4年度）

地点名	調査項目	単位	期間平均値	最大値	最小値
空港公園北（4-1）	二酸化硫黄	ppm	0.001	0.004	0
	一酸化炭素		0.2	0.3	0.2
	浮遊粒子状物質	mg/m <sup>3</sup>	0.017	0.037	0.006
	二酸化窒素	ppm	0.007	0.011	0.001
	光化学オキシダント		0.031	0.047	0.019

注1. 令和4年度の調査は令和4年9月13日～9月16日、9月21日～9月30日、令和5年2月10日～2月23日の間で実施された。

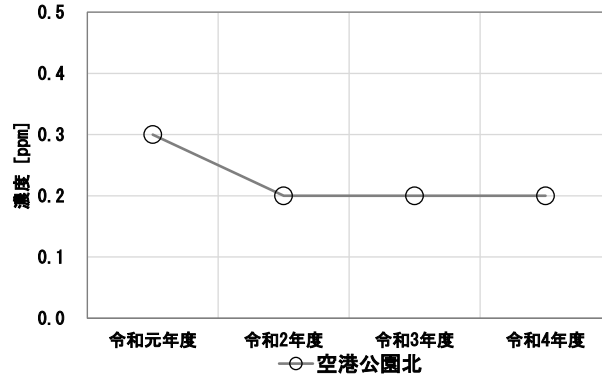
表 3.1-24 過去4年間における大気質の経年変化

地点名	調査項目	単位	期間平均値			
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
空港公園北（4-1）	二酸化硫黄	ppm	0.002	0.001	0.001	0.001
	一酸化炭素		0.3	0.2	0.2	0.2
	浮遊粒子状物質	mg/m <sup>3</sup>	0.013	0.018	0.019	0.017
	二酸化窒素	ppm	0.005	0.005	0.007	0.007
	光化学オキシダント		0.033	0.023	0.029	0.031



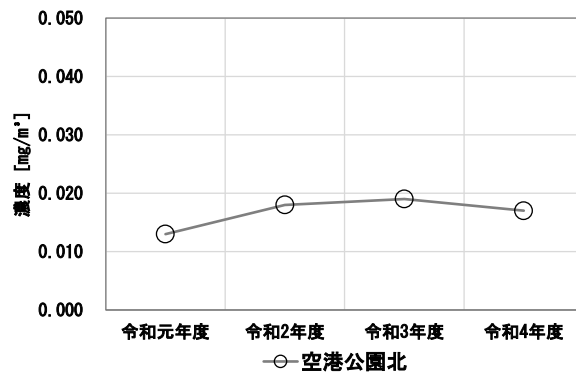
出典：「佐賀空港事務所提供資料」

図 3.1-16 過去4年間における二酸化硫黄の経年変化（期間平均値）



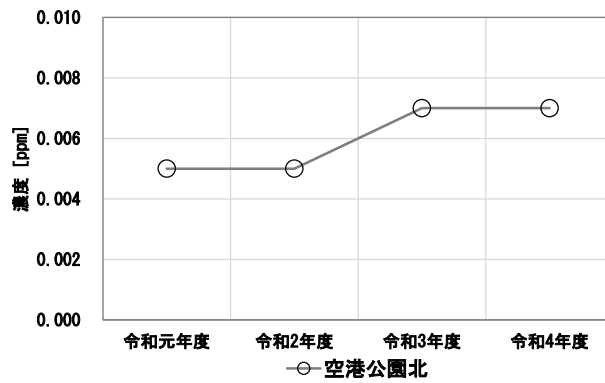
出典：「佐賀空港事務所提供資料」

図 3.1-17 過去4年間における一酸化炭素の経年変化（期間平均値）



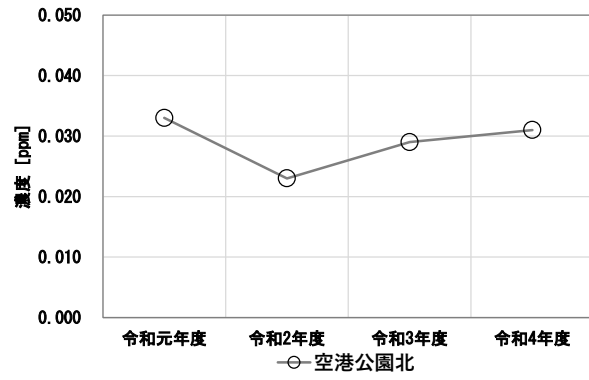
出典：「佐賀空港事務所提供資料」

図 3.1-18 過去4年間における浮遊粒子物質の経年変化（期間平均値）



出典：「佐賀空港事務所提供資料」

図 3.1-19 過去4年間における二酸化窒素の経年変化（期間平均値）



出典：「佐賀空港事務所提供資料」

図 3.1-20 過去4年間における光化学オキシダントの経年変化（期間平均値）

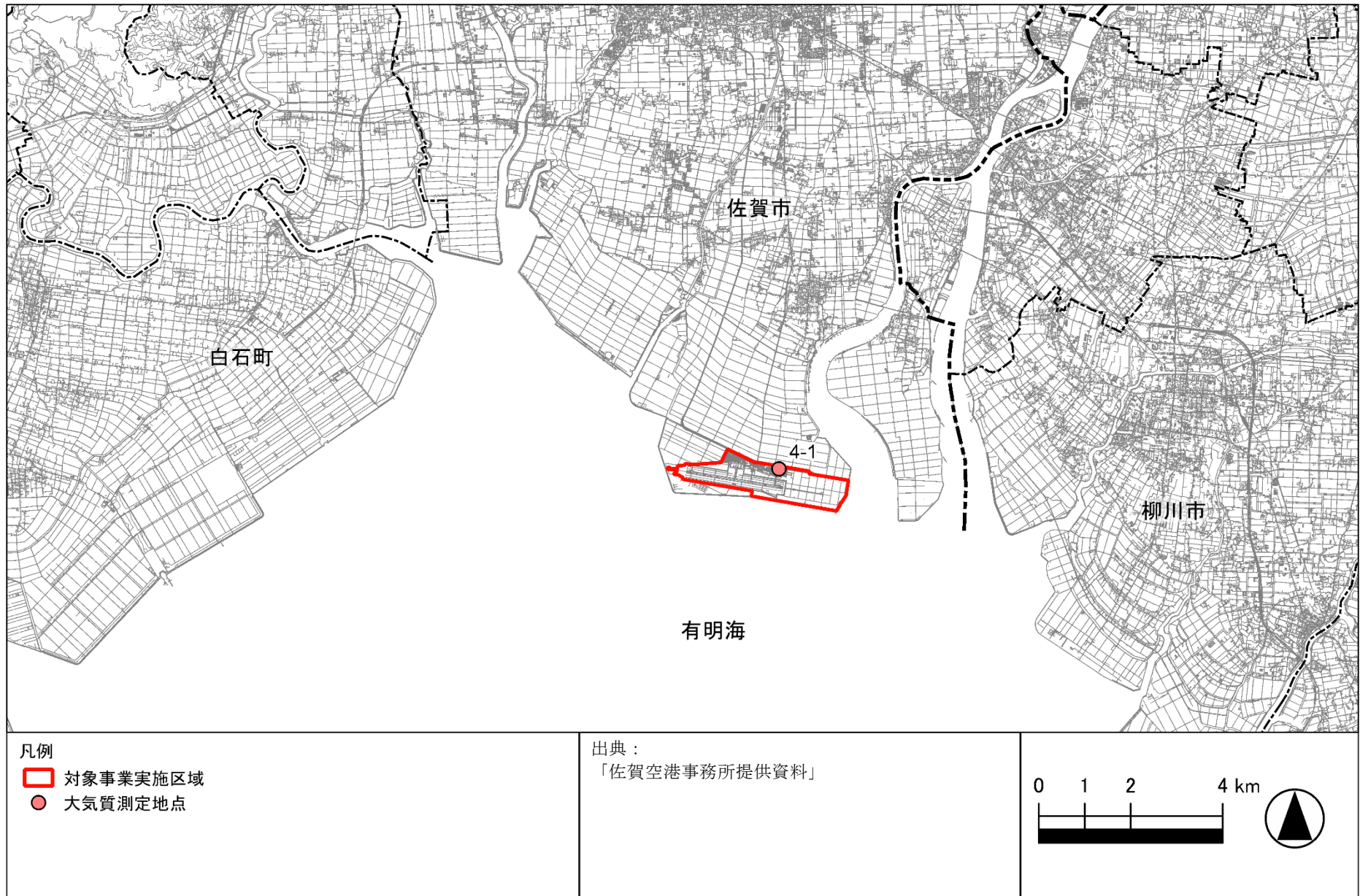


図 3.1-21 大気質測定地点図



### (3) 騒音及び超低周波音

#### 1) 航空機騒音

##### (ア) 佐賀空港周辺地域における航空機騒音の測定結果

佐賀県では、佐賀空港周辺地域において航空機騒音の測定を行っており、過去6年間の測定結果（平成30年度～令和5年度）は表3.1-25、観測地点は図3.1-22に示すとおりである。

測定は、空港周囲（3地点）と柳川市（2地点）では毎年、佐賀市と白石町では4地点から毎年2地点を抽出して実施しており、平成30年度～令和5年度までの評価値 $L_{den}$ は25～60dBであった。

表 3.1-25 航空機騒音測定結果

No.	地点	評価値 $L_{den}$ [dB]						地域の 類型
		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
1	国造搦西堤防(5-1)	60	59	50	52	56	60	無し
2	大詫間南(5-2)	53	53	42	45	49	50	
3	川副西干拓(5-3)	40	34	29	39	35	37	
4	佐賀市川副町小々森	-	36	-	32	-	-	
5	佐賀市川副町犬井道	35	-	29	-	30	-	
6	佐賀市川副町大詫間	-	36 <sup>注1)</sup>	-	32	-	-	
7	杵島郡白石町八平	43 <sup>注1)</sup>	-	29	-	25	-	
8	柳川市大浜町	42	39	31	32	37	37	
9	柳川市吉富町	35	35	29	30	30	33	

注1. 連続7日間の測定のうち欠測期間があったため、参考値を示す。

出典：「令和4年度佐賀空港周辺地域における航空機騒音の調査結果」（佐賀県HP）

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00313742/index.html>

「令和4年度 佐賀空港環境保全対策委託（騒音測定調査）」（令和5年3月、佐賀県）

「佐賀空港事務所提供資料」

##### (イ) 超低周波音

対象事業実施区域及びその周囲において、超低周波音の測定は実施していない。

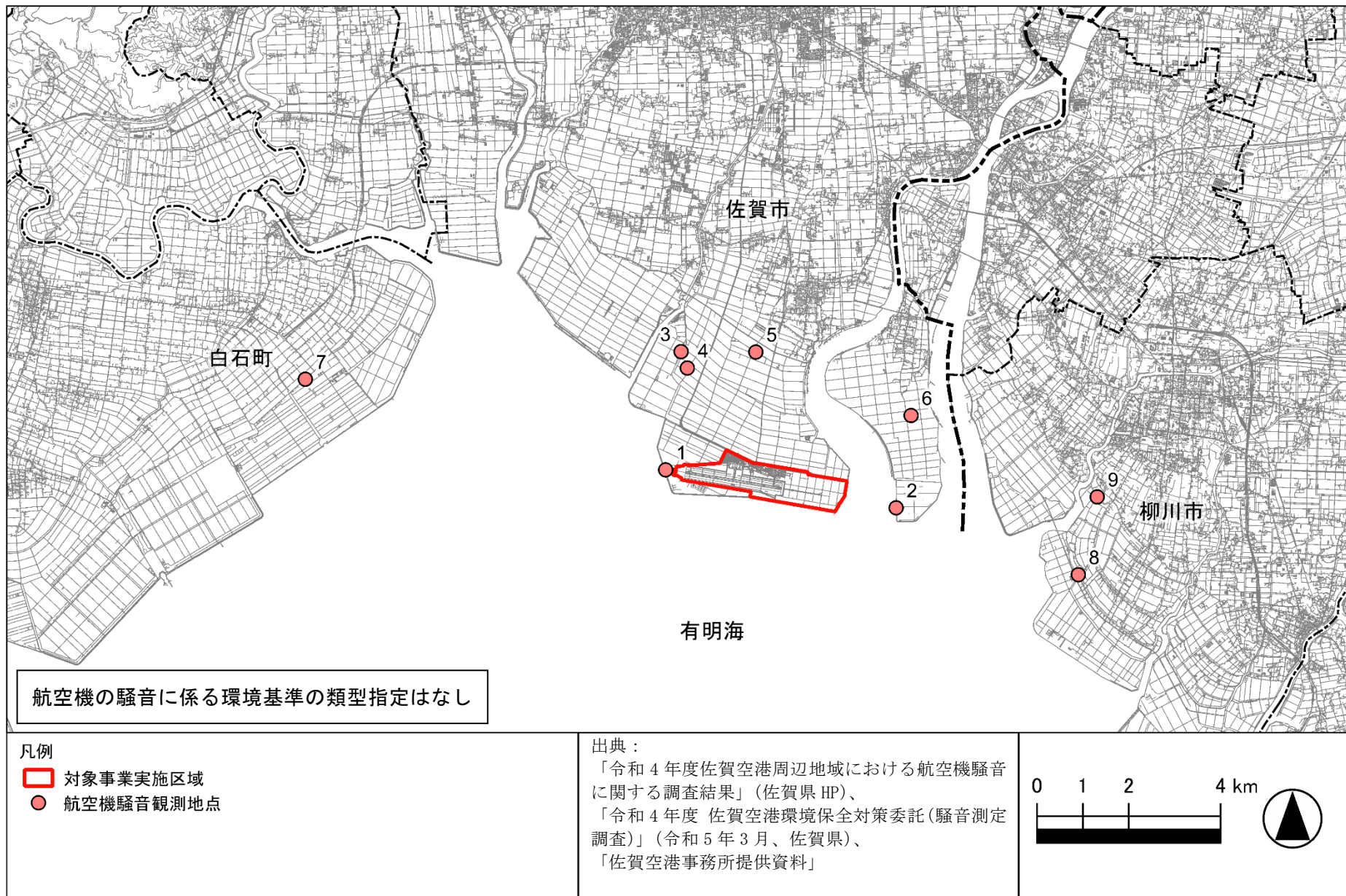


図 3.1-22 航空機騒音観測地点図

## 2) 自動車騒音

対象事業実施区域及びその周囲における自動車騒音調査結果を表 3.1-26 に、観測地点の位置（起点のみ）を図 3.1-23 に示す。

対象事業実施区域及びその周囲での測定地点は計 33 地点あり、昼間・夜間ともに基準値以下の路線は 27 地点ある。

表 3.1-26 (1) 自動車騒音調査結果（面的評価）

No.	路線名	評価区間		測定年度	評価区間延長 [km]	評価対象戸数 [戸]	昼夜間基準以下	
		起点	終点				[戸]	[%]
1	一般国道 444 号	杵島郡白石町 大字福富	杵島郡白石町 大字福富下分	2018	0.4	32	32	100.0
2	一般国道 444 号	杵島郡白石町 大字福富下分	杵島郡白石町 大字福富下分	2018	1.7	116	116	100.0
3	一般国道 207 号	杵島郡白石町 大字東郷	杵島郡白石町 大字福田	2022	1.0	53	53	100.0
4	一般国道 207 号	杵島郡白石町 大字福田	杵島郡白石町 大字廿治	2022	0.4	36	36	100.0
5	一般国道 207 号	杵島郡白石町 大字廿治	杵島郡白石町 大字横手	2022	1.3	59	48	81.4
6	一般国道 207 号	杵島郡白石町 大字横手	杵島郡白石町 大字戸ヶ里	2022	1.6	11	10	90.9
7	一般国道 207 号	佐賀市嘉瀬町 大字中原	佐賀市嘉瀬町 大字荻野	2017	0.5	69	69	100.0
8	一般国道 207 号	佐賀市久保田町 大字徳万	佐賀市久保田町 大字徳万	2017	0.5	62	61	98.4
9	一般国道 208 号	佐賀市諸富町 大字徳富	佐賀市諸富町 大字諸富津	2020	1.1	57	57	100.0
10	一般国道 208 号	佐賀市諸富町 大字諸富津	佐賀市諸富町 大字諸富津	2020	0.5	48	48	100.0
11	一般国道 208 号	佐賀市南佐賀 1丁目12	佐賀市西与賀町 大字厘外	2017	3.2	771	770	99.9

出典：「令和 4 年版佐賀県環境白書」（令和 5 年 7 月、佐賀県）

「公害関係測定結果（令和 4 年度版）」（令和 5 年 1 月、福岡県）

「公害関係測定結果（令和 5 年度版）」（令和 6 年 1 月、福岡県）

表 3.1-26 (2) 自動車騒音調査結果 (面的評価)

No.	路線名	評価区間		測定 年度	評価 区間延長 [km]	評価 対象戸数 [戸]	昼夜間 基準以下	
		起点	終点				[戸]	[%]
12 (12-1)	一般国道 208 号	柳川市大和町中島	柳川市大和町中島	2020	0.7	129	129	100.0
12 (12-2)	一般国道 208 号	柳川市大和町中島	柳川市大和町中島	2020	0.2	6	6	100.0
12 (12-3)	一般国道 208 号	柳川市大和町中島	柳川市大和町豊原	2020	1.8	103	78	75.7
13	一般国道 208 号	柳川市大和町豊原	柳川市大和町徳益	2019	1.6	108	108	100.0
14	一般国道 208 号	柳川市大和町徳益	柳川市三橋町下百町	2019	1.5	115	115	100.0
15	一般国道 443 号	柳川市三橋町 下百町	柳川市三橋町蒲船津	2021	0.6	96	96	100.0
16 (16-1)	一般国道 443 号	柳川市三橋町 蒲船津	柳川市三橋町蒲船津	2021	0.5	59	59	100.0
16 (16-2)	一般国道 443 号	柳川市三橋町 蒲船津	柳川市三橋町蒲船津	2021	0.2	20	20	100.0
16 (16-3)	一般国道 443 号	柳川市三橋町 蒲船津	柳川市三橋町白鳥	2021	0.8	62	62	100.0
17 (17-1)	久留米柳川線	柳川市蒲生	柳川市金納	2017	0.8	100	100	100.0
17 (17-2)	久留米柳川線	柳川市蒲生	柳川市金納	2022	0.9	147	100	100.0
18 (18-1)	久留米柳川線	柳川市金納	柳川市矢加部	2017	1.3	85	85	100.0
18 (18-2)	久留米柳川線	柳川市金納	柳川市矢加部	2022	0.6	31	31	100.0
19 (19-1)	久留米柳川線	柳川市矢加部	柳川市矢加部	2022	0.7	48	48	100.0
19 (19-2)	久留米柳川線	柳川市矢加部	柳川市辻町	2022	1.5	241	241	100.0
20	久留米柳川線	柳川市矢加部	柳川市三橋町柳河	2017	0.4	28	28	100.0
21 (21-1)	久留米柳川線	柳川市三橋町柳河	柳川市三橋町柳河	2017	0.3	27	27	100.0
21 (21-2)	久留米柳川線	柳川市三橋町柳河	柳川市三橋町柳河	2017	0.1	5	5	100.0
21 (21-3)	久留米柳川線	柳川市三橋町柳河	柳川市保加町	2017	0.1	11	11	100.0
22	久留米柳川線	柳川市保加町	柳川市辻町	2017	0.6	127	126	99.2
23	橋本辻町線	柳川市上宮永町	柳川市本城町	2018	0.9	125	125	100.0
24	橋本辻町線	柳川市本城町	柳川市片原町	2018	0.9	45	45	100.0

出典：「令和 4 年版佐賀県環境白書」（令和 5 年 7 月、佐賀県）

「公害関係測定結果（令和 4 年度版）」（令和 5 年 1 月、福岡県）

「公害関係測定結果（令和 5 年度版）」（令和 6 年 1 月、福岡県）

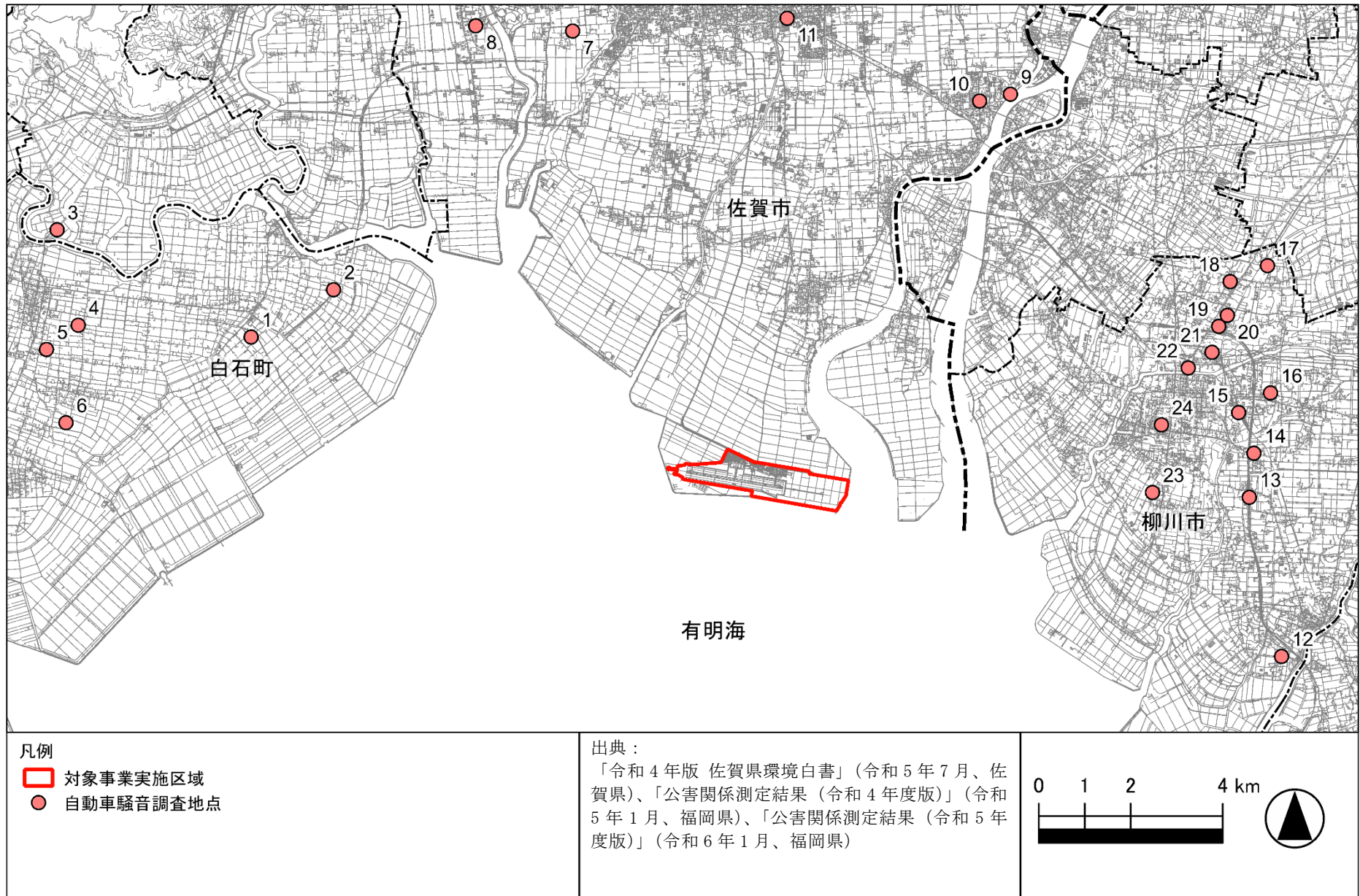


図 3.1-23 自動車騒音観測地点図

#### (4) 振動

佐賀市における令和3年度道路交通振動測定結果は表3.1-27、測定地点の位置は図3.1-24に示すとおりである。令和3年度に佐賀市が実施した道路交通振動測定結果において、要請限度（昼間：65dB、夜間：60dB）を超過した地点はなかった。

表 3.1-27 佐賀市における令和3年度道路交通振動測定結果

No.	測定地点	区域区分	道路名	測定期間	振動レベル[dB]	
					8:00～19:00	19:00～8:00
1	マルキョウ大財店	第1種	市道大財修理田線	令和4年1月	39	33
				24-25日	(65)	(60)
2	佐賀県立 佐賀北高等学校	第1種	市道大財北島線	令和4年1月	41	36
				24-25日	(65)	(60)
3	佐賀東部 水道企業団	第1種	国道34号	令和4年1月	48	44
				24-25日	(65)	(60)

注1. ( ) 内の数値は要請限度を示す。

出典：「佐賀市内の騒音・振動の状況」（佐賀市エコプラザHP）<https://www.saga-ecoplaza.jp/sokuteikekka>

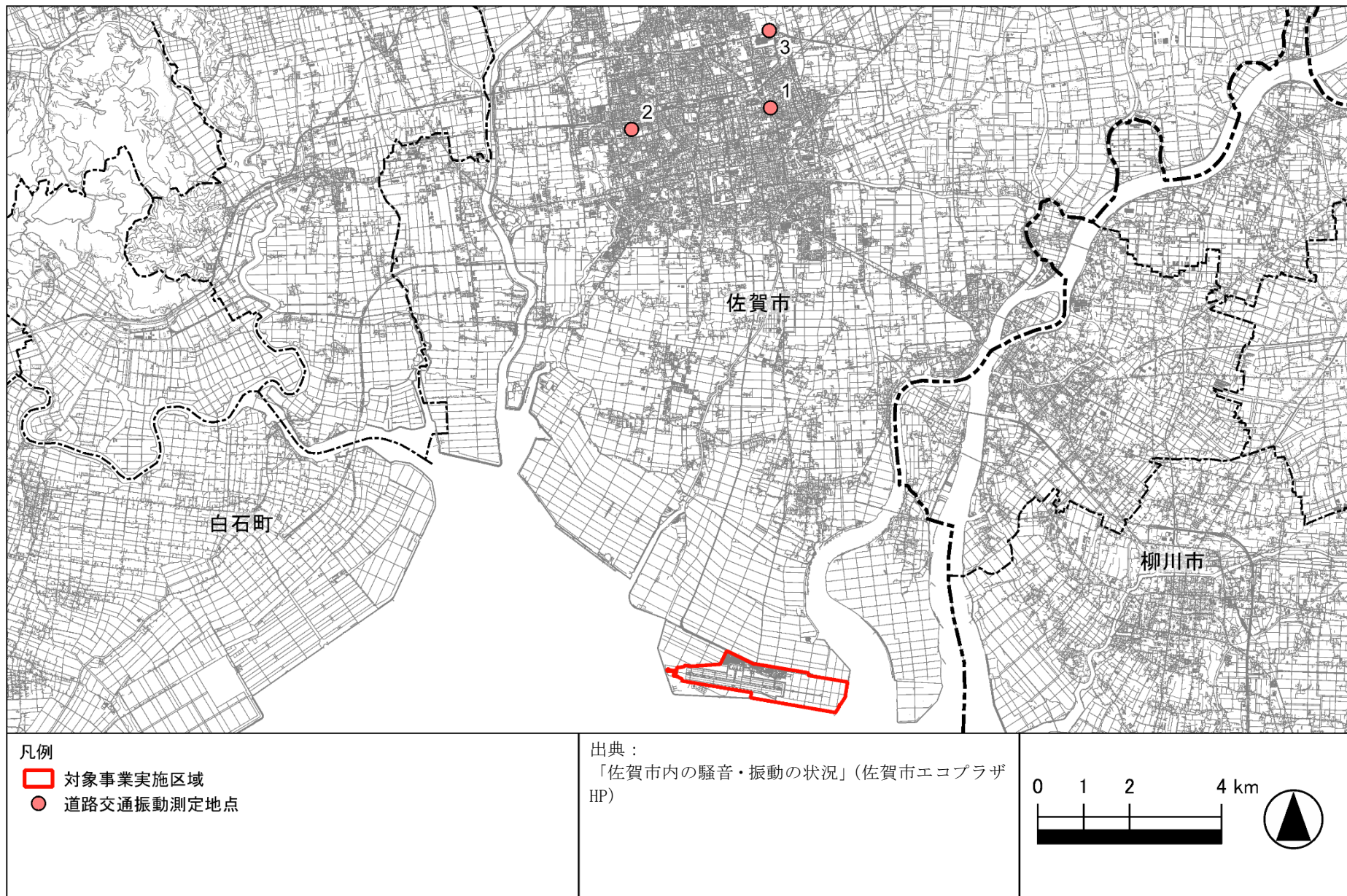


図 3.1-24 道路交通振動測定地点図

## (5) 悪臭

佐賀県及び佐賀市では「悪臭防止法に基づく規制地域及び規制基準」により、工場その他の事業場における事業活動に伴って発生する悪臭原因物の排出を規制する地域を指定し、当該規制地域内における特定悪臭物質の排出に係る規制基準を定めている。対象事業実施区域及びその周囲における規制地域は、佐賀県佐賀市及び白石町の全域において指定されており、事業所に対する規制を行っている。また、福岡県柳川市においては規制地域として指定がなく、適用対象外となっている。

なお、令和4年版佐賀県環境白書によると、令和3年度の悪臭の苦情件数は佐賀市で14件、白石町で1件となっている。



### 3.1.2 水環境の状況

#### (1) 水象

対象事業実施区域及びその周囲を流れる主な河川は表 3.1-28 及び図 3.1-25 に示すとおりである。一級河川としては筑後川水系、六角川水系、嘉瀬川水系、矢部川水系の河川があるほか、二級河川としては福所江水系、只江川水系の河川があり、いずれも有明海に流出している。

表 3.1-28 対象事業実施区域及びその周囲における主要な河川の概要

No.	河川名	水系名	水系総延長[km]	河川区分	
1	筑後川	筑後川	143	一級河川	
2	花宗川				
3	黒津江川				
4	佐賀江川				
5	新橋川				
6	新川				
7	早津江川				
8	大五川				
9	別段川				
10	六角川	六角川	47		
11	牛津川				
12	古川				
13	戸崎川				
14	三条川				
15	惣領分川				
16	直江川				
17	白石川				
18	緑郷川				
19	嘉瀬川	嘉瀬川	57		
20	古江湖川				
21	多布施川				
22	得仏川				
23	八田江				
24	戊辰川				
25	本庄江				
26	本庄川				
27	矢部川	矢部川	61		
28	塩塚川				
29	沖端川				
30	楠田川				
31	二ツ川				
32	二ツ川放水路				
33	飯江川				
34	福所江	福所江	7		二級河川
35	芦新川				
36	只江川	只江川	6		

出典：「国土数値情報 河川データ」（平成19年、国土交通省）<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/jpgis/data1ist/KsjTmplt-w05.html>、「筑後川水系河川整備計画（変更）」（令和4年9月、国土交通省九州地方整備局）、「六角川水系河川整備計画【変更】」（令和2年7月、国土交通省九州地方整備局）、「嘉瀬川水系河川整備計画」（平成19年10月、国土交通省九州地方整備局）、「矢部川水系河川整備計画（変更）」（平成28年11月、国土交通省九州地方整備局）、「福所江水系河川整備基本方針」（令和2年3月、佐賀県）、「只江川水系河川整備基本方針」（平成30年4月、佐賀県）

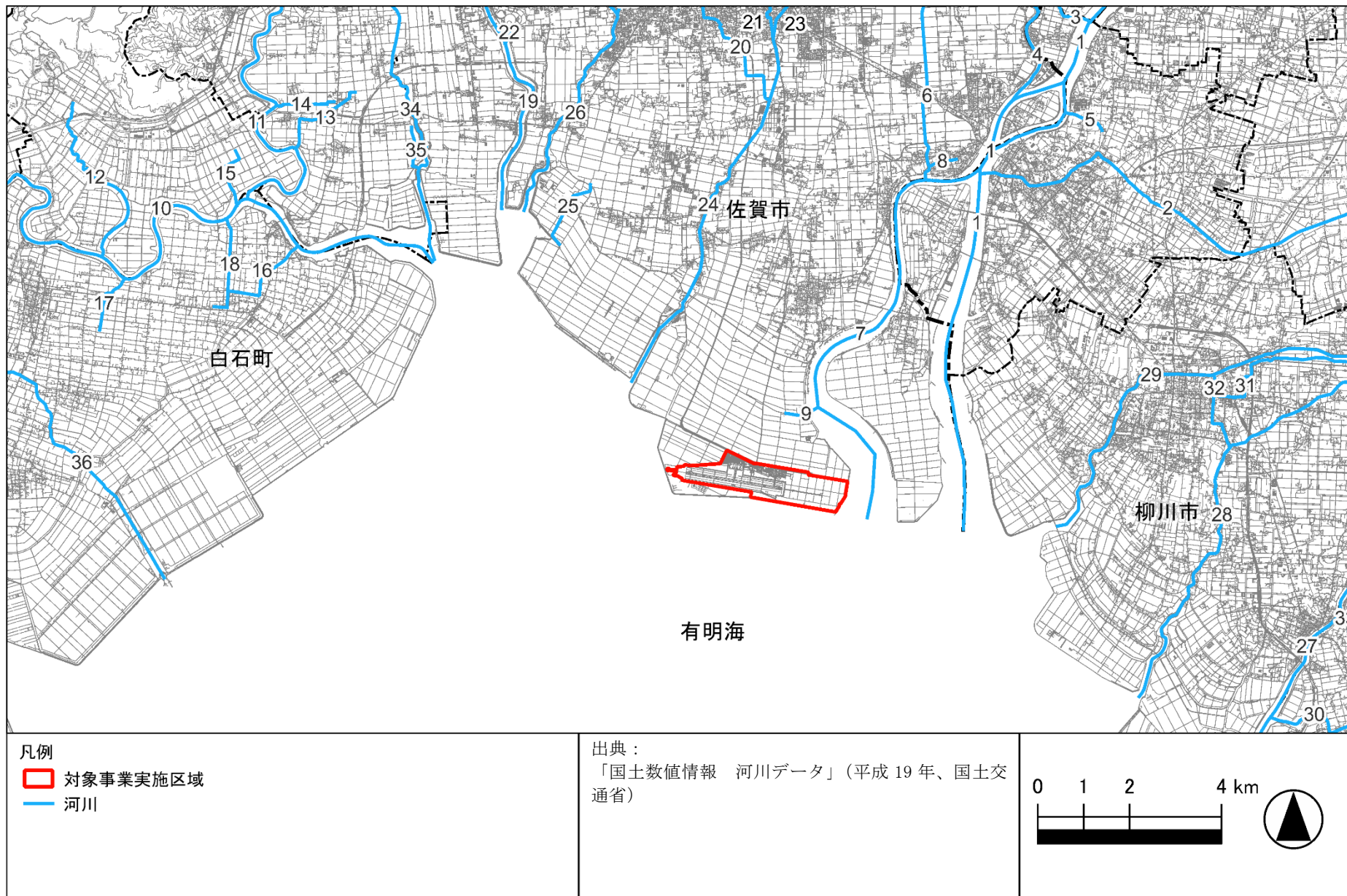


図 3.1-25 河川位置図

## (2) 水質

### 1) 佐賀県及び福岡県による調査

佐賀県及び福岡県では水質汚濁防止法に基づき、公共用水域の水質汚濁の状況を把握するために「公共用水域の水質の測定計画」を作成し、常時監視を実施している。なお、対象事業実施区域及びその周囲には環境基準測定点を有する湖沼はない。

### (ア) 河川

対象事業実施区域及びその周囲の河川における環境基準測定点での水質測定結果は表 3.1-29～表 3.1-31 に、環境基準測定点の位置は図 3.1-26 に示すとおりである。

生活環境項目について、pH は酒見橋、晴天大橋、磯鳥堰を除く地点において環境基準を満足していた。溶存酸素量 (DO) は全ての地点において環境基準を満足していた。生物化学的酸素要求量 (BOD) は久保田橋、酒見橋、晴天大橋、浦島橋、磯鳥堰を除く地点において環境基準を満足していた。また、浮遊物質量 (SS) は六角橋、久保田橋、本庄江橋、中島橋、三明橋、晴天大橋、浦島橋、磯鳥橋を除く地点において環境基準を満足していた。また、大腸菌群数は新郷橋を除く地点において環境基準を満足していた。健康項目についてはすべての項目に関して環境基準を下回っていた。

表 3.1-29 環境基準測定点一覧 河川

No.	都道府県	水系名	水域名	地点名	類型	健康項目の測定の有無
1	佐賀県	六角川	六角川中流	六角橋	D	有
2			六角川下流	住ノ江橋	E	有
3			福所江	三丁井樋	E	無
4		嘉瀬川	嘉瀬川下流	久保田橋	D	無
5			多布施川下流	新郷橋	B	無
6			本庄江	本庄江橋	C	有
7			八田江	中島橋	C	無
8	福岡県	筑後川	花宗川	酒見橋	B (5～9月) C (10～4月)	有
9		矢部川	沖端川下流	三明橋	C	無
10			塩塚川	晴天大橋	B	有
11			矢部川下流	浦島橋	B	無
12			沖端川上流	磯鳥堰	A	有

出典：「公共用水域及び地下水の水質測定結果平成 28 年佐賀県告示第 112 号（公共用水域が該当する水質汚濁に係る環境基準の水域類型の指定）」（佐賀県 HP）

[https://www.pref.saga.lg.jp/ki\\_ji00314004/index.html](https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji00314004/index.html)

「令和 3 年度公共用水域及び地下水水質測定結果」（佐賀県 HP）

[https://www.pref.saga.lg.jp/ki\\_ji00314004/index.html](https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji00314004/index.html)

「令和 4 年度公共用水域水質測定結果」（福岡県 HP）

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/04koukyouyousuiiki.html>

表 3.1-30 (1) 生活環境項目測定結果 河川

No.	地点名	単位	pH		DO [mg/L]		BOD [mg/L]		SS [mg/L]	
			測定値	環境 基準値	測定値	環境 基準値	測定値	環境 基準値	測定値	環境 基準値
1	六角橋 (D)	最大	7.8	6.0 以上 8.5 以下	8.6	2以上	2.0	8以下	250	100以下
		m/n	0/12		0/12		0/12		3/12	
2	住ノ江橋 (E)	最大	8.1		10.0		2.7	10以下	120	ごみ等の 浮遊が認 められな いこと。
		m/n	0/12		0/12		0/12		-/12	
3	三丁井樋 (E)	最大	7.4		9.6		9.2		34	
		m/n	0/12		1/12		0/12		-/12	
4	久保田橋 (D)	最大	7.6		10.0		11	8以下	7400	100以下
		m/n	0/12		0/12		2/12		6/12	
5	新郷橋 (B)	最大	8.0		12.0		1.2	3以下	11	25以下
		m/n	0/12		0/12		0/12		0/12	
6	本庄江橋 (C)	最大	7.6		9.5		2.8	5以下	2300	50以下
		m/n	0/12		0/12		0/12		12/12	
7	中島橋 (C)	最大	7.6	11.0	3.0	770				
		m/n	0/12	0/12	0/12	11/12				
8	酒見橋 (C)	最大	9.7	16.0	10.0	38				
		m/n	7/12	0/12	6/12	0/12				
9	三明橋 (C)	最大	7.7	8.7	2.8	500				
		m/n	0/5	0/5	0/5	5/5				
10	晴天大橋 (B)	最大	8.6	10.0	6.0	3以下	240	25以下		
		m/n	1/12	0/12	9/12		12/12			
11	浦島橋 (B)	最大	8.0	10.0	3.1	80				
		m/n	0/12	0/12	1/12	5/12				
12	磯島堰 (A)	最大	9.4	13.0	8.9	2以下	100			
		m/n	4/12	0/12	7/12		2/12			

注1. mは環境基準の値を超過した検体数、nは総検体数を示す。

注2. 表中の「-」は測定されていない項目又は環境基準が設けられていない地点を示す。

出典：「令和3年度公共用水域及び地下水水質測定結果」(佐賀県HP)

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00314004/index.html>

「令和4年度公共用水域水質測定結果」(福岡県HP)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/04koukyouyousuiiki.html>

表 3.1-30 (2) 生活環境項目測定結果 河川

No.	地点名	単位	大腸菌群数		全窒素	全燐	
			[MPN/100mL]		[mg/L]	[mg/L]	
			測定値	環境基準値	測定値	測定値	
1	六角橋 (D)	最大	—	—	3.0	0.48	
		m/n	/		—/4	—/4	
2	住ノ江橋 (E)	最大	—		1.9	0.28	
		m/n	/		—/4	—/4	
3	三丁井樋 (E)	最大	—		2.7	0.27	
		m/n	/		—/2	—/2	
4	久保田橋 (D)	最大	—		4.7	0.67	
		m/n	/		—/4	—/4	
5	新郷橋 (B)	最大	24000		5,000 以下	0.56	0.089
		m/n	5/12			—/2	—/2
6	本庄江橋 (C)	最大	—		—	7.0	2.7
		m/n	/			—/2	—/2
7	中島橋 (C)	最大	—	2.4		0.39	
		m/n	/	—/2		—/2	
8	酒見橋 (C)	最大	38	3.5		0.27	
		m/n	0/12	0/2		0/2	
9	三明橋 (C)	最大	—	—		—	
		m/n	/	/		/	
10	晴天大橋 (B)	最大	490	5,000 以下		2.6	0.22
		m/n	0/2			0/2	0/2
11	浦島橋 (B)	最大	36	1.2		0.13	
		m/n	0/4	0/4		0/4	
12	磯島堰 (A)	最大	38	1,000 以下	1.5	0.11	
		m/n	0/2		0/2	0/2	

注 1. m は環境基準の値を超過した検体数、n は総検体数を示す。

注 2. 表中の「—」は測定されていない項目又は環境基準が設けられていない地点を示す。

出典：「令和 3 年度公共用水域及び地下水水質測定結果」(佐賀県 HP)

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00314004/index.html>

「令和 4 年度公共用水域水質測定結果」(福岡県 HP)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/04koukyouyousuiiki.html>

表 3.1-31 健康項目測定結果 河川

No.	地点名 (類型)	単位	鉛	砒素	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	ふっ素
			[mg/L]	[mg/L]	[mg/L]	[mg/L]
1	六角橋(D)	平均値	—	—	1.4	—
		m/n	—	—	0/4	—
2	住ノ江橋(E)	平均値	—	0.002	0.88	—
		m/n	—	0/1	0/4	—
3	三丁井樋(E)	平均値	—	—	1.2	—
		m/n	—	—	0/1	—
4	久保田橋(D)	平均値	—	—	—	—
		m/n	—	—	—	—
5	新郷橋(B)	平均値	—	—	—	—
		m/n	—	—	—	—
6	本庄江橋(C)	平均値	—	—	—	—
		m/n	—	—	—	—
7	中島橋(C)	平均値	—	—	—	—
		m/n	—	—	—	—
8	酒見橋(C)	平均値	<0.005	0.005	1.5	0.15
		m/n	0/1	0/1	0/1	0/1
9	三明橋(C)	平均値	<0.005	<0.005	1.4	<0.08
		m/n	0/1	0/1	0/1	0/1
10	晴天大橋(B)	平均値	<0.005	<0.005	1.1	0.10
		m/n	0/1	0/1	0/1	0/1
11	浦島橋(B)	平均値	—	—	—	—
		m/n	—	—	—	—
12	磯鳥堰(A)	平均値	<0.005	<0.005	1.4	<0.08
		m/n	0/1	0/1	0/1	0/1
環境基準値 (mg/L)			0.01 以下	0.01 以下	10 以下	0.8 以下

注1. mは環境基準の値を超過した検体数、nは総検体数を示す。

注2. 表中の「—」は測定されていない項目又は環境基準が設けられていない地点を示す。

注3. 健康項目は報告下限値を上回っていた項目を示す。

出典：「令和3年度公共用水域及び地下水水質測定結果」(佐賀県HP)

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00314004/index.html>

「令和4年度公共用水域水質測定結果」(福岡県HP)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/04koukyouyousuiiki.html>

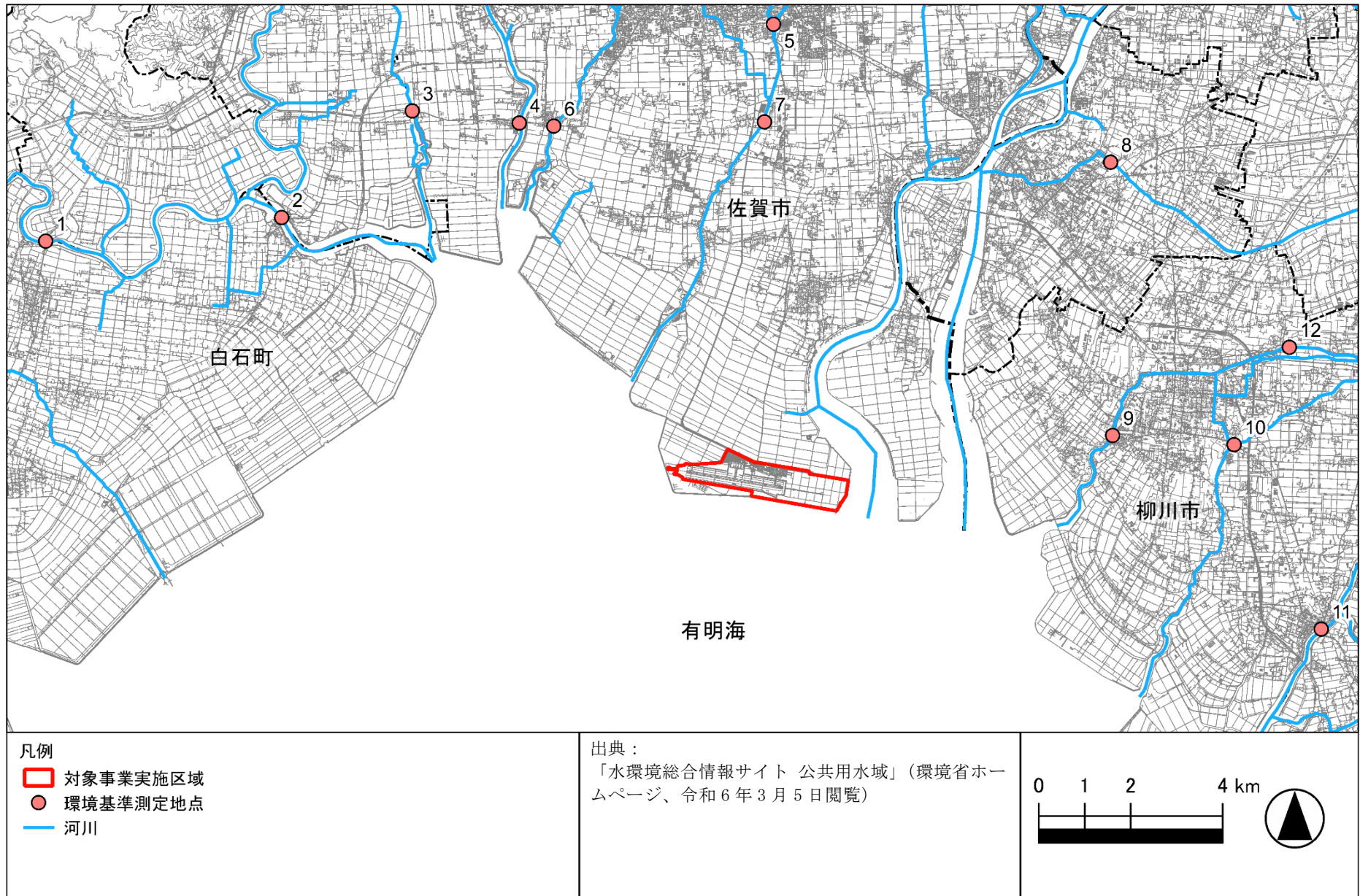


図 3.1-26 水質測定地点図 (河川)



(イ) 海域

対象事業実施区域及びその周囲の海域における環境基準測定点での水質測定結果は表 3.1-32～表 3.1-34 に、また環境基準測定点は図 3.1-27 に示すとおりである。

生活環境項目については、pH は C 地点のみ環境基準を満足していた。溶存酸素量 (DO) は全ての地点において環境基準を満足していた。化学的酸素要求量 (COD) は B-2、B-3、B-4、B-5、A-2 を除く地点において環境基準を満足していた。また、大腸菌群数はすべての地点において環境基準を満足していた。全窒素は C、B-4、A-2、St-7 を除く地点で環境基準を満たしており、全磷はすべての地点において環境基準値を超える検出が確認された。

健康項目については、すべての地点において環境基準を満足していた。

表 3.1-32 環境基準測定点一覧 海域

No.	都道府県	水域名	地点名	類型	健康項目の測定の有無
1	佐賀県	有明海 (1)	C	C	有
2		有明海 (4)	B - 2	B	有
3		有明海 (4)	B - 3	B	有
4		有明海 (4)	B - 4	B	有
5		有明海 (4)	B - 5	B	有
6		有明海 (15)	A - 2	A	有
7	福岡県	有明海 (4)	St - 7	B	有

出典：「令和 3 年度公共用水域及び地下水水質測定結果」(佐賀県 HP)

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00314004/index.html>

「令和 4 年度公共用水域水質測定結果」(福岡県 HP)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/04koukyouyousuiiki.html>

表 3.1-33 (1) 生活環境項目測定結果 海域

No.	地点名	単位	pH		DO		COD		SS
			測定値	環境基準値	[mg/L]		[mg/L]		[mg/L]
					測定値	環境基準値	測定値	環境基準値	測定値
1	C	最大	8.3	7.0 以上 8.3 以下	10	2 以上	7.9	8 以下	85
		m/n	0/12		0/12		0/12		—
2	B - 2	最大	8.8	7.8 以上 8.3 以下	11	5 以上	3.3	3 以下	50
		m/n	3/12		0/12		1/12		—
3	B - 3	最大	8.5		10		7.3		38
		m/n	1/12		0/12				
4	B - 4	最大	8.4		10		4.1		39
		m/n	1/12		1/12				
5	B - 5	最大	8.4		9.8		5.1		55
		m/n	1/12	1/12	1/12	—			
6	A - 2	最大	8.8	10	7.3	2 以下	60		
		m/n	3/24	13/36			24/24	—	
7	St - 7	最大	8.4	10	2.8	3 以下	79		
		m/n	8/24	1/24			0/24	0/24	

注 1. 注釈及び出典の内容は表 3.1-33 (2) に示す。

表 3.1-33 (2) 生活環境項目測定結果 海域

No.	地点名	単位	大腸菌群数		全窒素		全磷		
			[MPN/100mL]		[mg/L]		[mg/L]		
			測定値	環境基準値	測定値	環境基準値	測定値	環境基準値	
1	C	最大	—	—	1.3	0.6 以下	0.26	0.05 以下	
		m/n	—		6/6		6/6		
2	B - 2	最大	—		0.59		0.12		
		m/n	—		0/6		6/6		
3	B - 3	最大	—		0.57		0.18		
		m/n	—		0/12		10/12		
4	B - 4	最大	—		0.76		0.14		
		m/n	—		4/12		11/12		
5	B - 5	最大	—		0.58		0.12		
		m/n	—		0/12		10/12		
6	A - 2	最大	49		1,000 以下		0.71		0.15
		m/n	0/6		2/12		11/12		
7	St - 7	最大	—		—		0.69		0.23
		m/n	—		—		1/12		12/12

注1. mは環境基準の値を超過した検体数、nは総検体数を示す。

注2. 表中の「—」は測定されていない項目又は環境基準が設けられていない地点を示す。

出典：「令和3年度公共用水域及び地下水水質測定結果」(佐賀県HP)

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00314004/index.html>

「令和4年度公共用水域水質測定結果」(福岡県HP)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/03koukyouyousuiiki.html>

表 3.1-34 健康項目測定結果 海域

No.	地点名	砒素	硫酸性窒素及び亜硝酸性窒素
		[mg/L]	[mg/L]
1	C	—	0.27
2	B - 2	0.001	0.03
3	B - 3	—	0.06
4	B - 4	—	0.11
5	B - 5	0.001	0.09
6	A - 2	—	0.08
7	St - 7	<0.005	<0.40
環境基準値 (mg/L)		0.01 以下	10 以下

注1. 表中の「—」は測定を行っていない項目を示す。

注2. 健康項目は報告下限値を上回っていた項目を示す。

出典：「令和3年度公共用水域及び地下水水質測定結果」(佐賀県HP)

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00314004/index.html>

「令和4年度公共用水域水質測定結果」(福岡県HP)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/03koukyouyousuiiki.html>

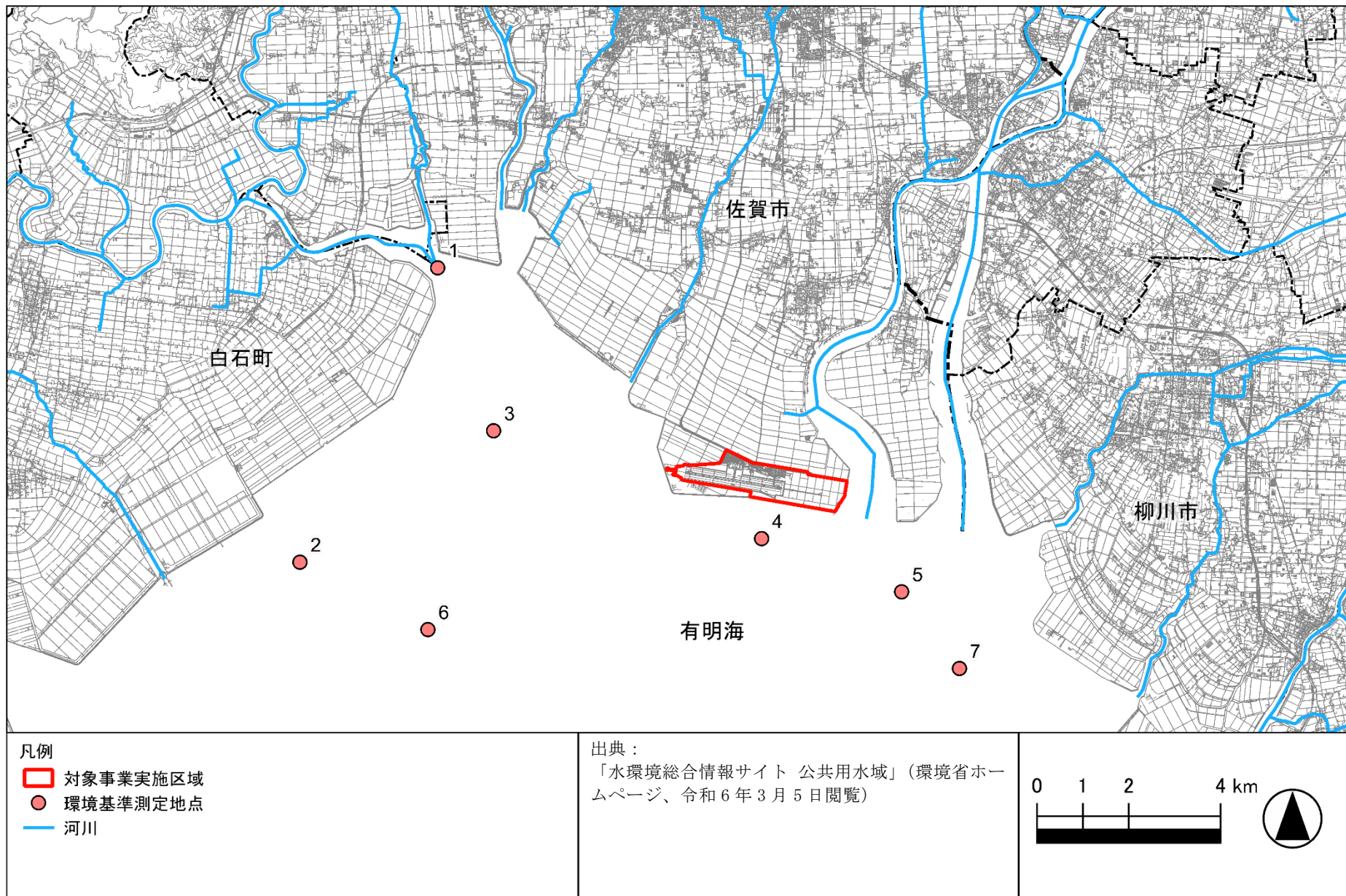


図 3.1-27 水質測定地点図 (海域)

(ウ) クリーク

対象事業実施区域及びその周囲のクリークにおける水質測定結果は表 3.1-35～表 3.1-36 に、測定点の位置は図 3.1-28 に示すとおりである。なお、全ての地点において、環境基準に係る類型の指定はない。

表 3.1-35 環境測定点一覧 クリーク

No.	水域名	地点名	類型	健康項目の測定の有無
1	下早樋管クリーク	下早樋管	-	無
2	南第 15 区クリーク	南 15 区福地石油東		無
3	南 12 区クリーク	南 12 区高祖薬局前		無

出典：「令和 3 年度公共用水域及び地下水水質測定結果」（佐賀県 HP）  
<https://www.pref.saga.lg.jp/kiiji00314004/index.html>

表 3.1-36 生活環境項目測定結果 クリーク

No.	海域名等	地点名	単位	pH	DO	COD	SS	大腸菌群数	全窒素	全磷
					[mg/L]			[MPN/100mL]	[mg/L]	
1	下早樋管クリーク	下早樋管	最大	9.4	16	13	72	—	4.3	0.13
2	南第 15 区クリーク	南第 15 区	最大	8.8	18	31	48	—	3.4	0.25
3	南 12 区クリーク	南 12 区	最大	7.9	8.2	12	51	—	3.9	0.39

注 1. 表中の「—」は測定を行っていない項目を示す。

出典：「令和 3 年度公共用水域及び地下水水質測定結果」（佐賀県 HP）  
<https://www.pref.saga.lg.jp/kiiji00314004/index.html>

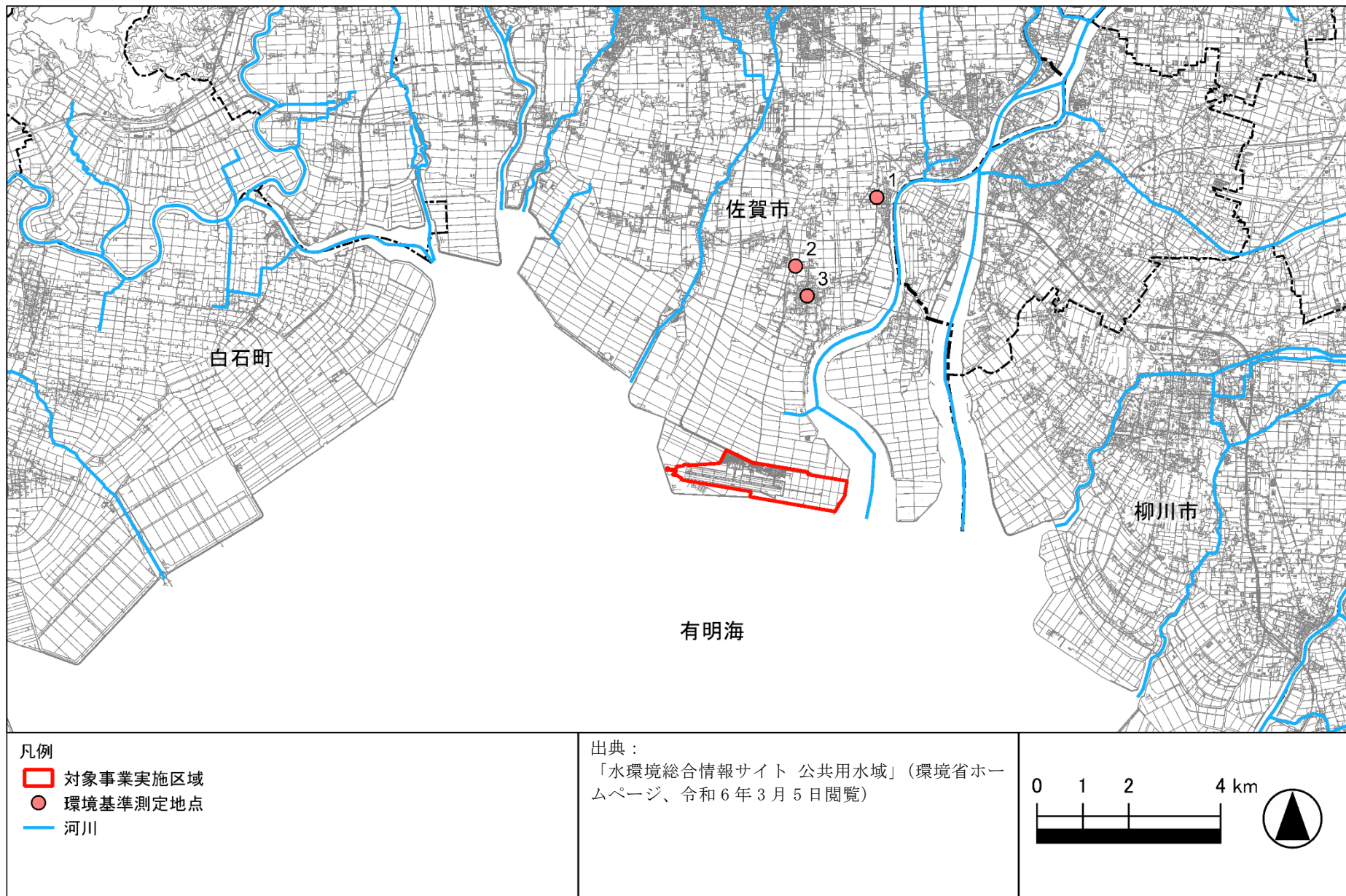


図 3.1-28 水質測定地点図（クリーク）

## 2) 佐賀空港事務所による調査

佐賀空港事務所では、空港の周囲及び海域において水質の測定を行っている。

### (ア) 排水処理施設

ターミナルビル排水処理施設における水質測定結果は表 3.1-37 に、測定位置は図 3.1-29 に示すとおりである。

すべての項目に関して排水基準を下回っていた。

表 3.1-37 排水処理施設における水質測定結果

No.	地点名	単位	年度	pH	BOD	SS	大腸菌群数
					[mg/L]	[mg/L]	[個/cm <sup>3</sup> ]
1-3	ターミナルビル排水処理施設出口	年平均値	令和元年度	7.2	3.1	3.8	0
			令和2年度	6.9	1.6	1.4	0
			令和3年度	7.0	1.3	1.6	0
			令和4年度	7.0	4.8	5.3	0
排水基準で定める許容限度				5.8以上 8.6以下	50 (日間平均:30)	100 (日間平均:70)	3000 (日間平均)

出典:「佐賀空港事務所提供資料」

### (イ) 佐賀空港周辺の樋門・水路及び海域

佐賀空港周辺の樋門・水路における水質測定結果は表 3.1-38 に、海域における水質測定結果は表 3.1-39 に、水質自動測定装置による樋門の水質測定結果は表 3.1-40 に、測定位置は図 3.1-29 に示すとおりである。

表 3.1-38 樋門・水路における水質測定結果

No.	地点名	単位	年度	pH	COD	SS	油分
					[mg/L]	[mg/L]	[mg/L]
1-1	国造搦樋門	年平均値	令和元年度	8.6	8.1	42.0	ND
			令和2年度	8.3	6.7	27.7	ND
			令和3年度	8.5	7.1	47.1	1未満
			令和4年度	8.4	7.9	67.6	1未満
1-2	国造搦内水路	年平均値	令和元年度	8.6	9.0	63.8	ND
			令和2年度	8.3	6.6	50.8	ND
			令和3年度	8.5	7.3	68.1	ND
			令和4年度	8.4	8.1	69.7	ND
1-4	平和搦樋門	年平均値	令和元年度	8.8	8.7	59.8	1未満
			令和2年度	8.5	7.6	52.5	1未満
			令和3年度	8.8	7.8	60.6	ND
			令和4年度	8.7	8.8	56.8	ND

注1. NDは検出限界以下を示す。

出典:「佐賀空港事務所提供資料」

表 3.1-39 海域における水質測定結果

No.	地点名	単位	年度	pH	COD	SS	油分	塩化物イオン	比重
					[mg/L]	[mg/L]	[mg/L]	[mg/L]	-
2-1	国造搦樋門南	年平均値	令和元年度	7.9	1.2	37.3	ND	14,833	19.9
			令和2年度	7.9	1.5	30.8	ND	13,367	17.7
			令和3年度	8.0	1.9	29.3	ND	14,917	20.0
			令和4年度	8.1	1.8	28.1	0.5未満	14,917	20.0
2-2	平和搦樋門南	年平均値	令和元年度	7.9	1.4	47.0	ND	14,500	19.3
			令和2年度	7.9	1.5	46.7	ND	12,733	16.8
			令和3年度	8.0	1.7	37.9	ND	13,558	18.1
			令和4年度	8.0	1.8	39.2	0.5未満	14,658	19.5
2-3	空港南海域	年平均値	令和元年度	8.0	1.3	32.2	ND	15,333	-
			令和2年度	7.9	0.9	26.0	ND	15,433	-
			令和3年度	8.0	1.3	20.4	ND	15,583	-
			令和4年度	8.0	1.1	41.4	ND	17,417	-

注1. NDは検出限界以下を示す。

注2. 表中の「-」は測定されていない項目を示す。

出典：「佐賀空港事務所提供資料」

表 3.1-40 水質自動測定装置による樋門の水質測定結果

No.	地点名	単位	年度	pH	濁度	電気伝導度
					[mg/L]	[mS/cm]
3-1	国造搦樋門	年平均値	令和元年度	8.2	43.4	6.8
			令和2年度	8.2	46.1	4.8
			令和3年度	8.2	37.6	6.4
			令和4年度	8.2	36.3	3.9
3-2	平和搦樋門	年平均値	令和元年度	8.3	45.3	6.8
			令和2年度	8.5	58.6	6.1
			令和3年度	8.6	38.9	6.9
			令和4年度	8.6	34.3	7.2

出典：「佐賀空港事務所提供資料」

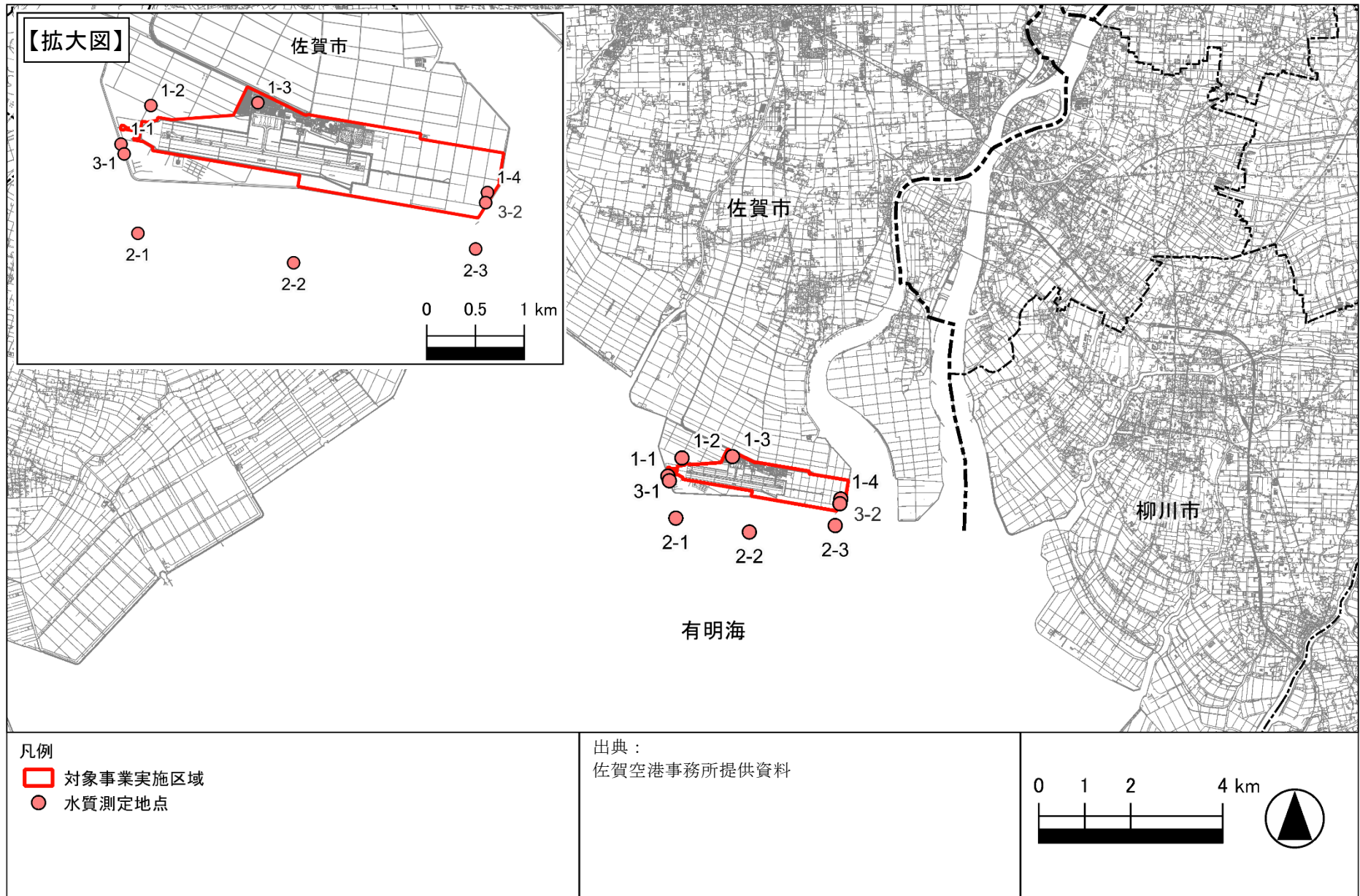


図 3.1-29 水質測定地点図



### (3) 地下水の水質及び水位

#### 1) 地下水の水質

対象事業実施区域及びその周囲における地下水の水質測定結果は表 3.1-41 に示すとおりである。砒素に関しては柳川市の 8 地点で環境基準 (0.01mg/L 以下) を超過していたが、その他の地点と測定項目においては環境基準を満足していた。なお、測定位置については住所を公開していないため図示しない。

表 3.1-41 (1) 地下水の水質測定結果

No.	市町村	地区名	カドミウム	全アン	鉛	六価クロム	砒素	総水銀	アルキル水銀	
			mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	
1	佐賀市	北川副町新郷 (0007-700300)	-	-	-	-	<0.001	-	-	
2		末広 (0033-700200)	-	-	-	-	<0.001	-	-	
3	白石町	新拓 (0050-800100)	-	-	-	-	-	-	-	
4		新拓 (0050-800200)	-	-	-	-	-	-	-	
5		福田 (0090-800100)	-	-	-	-	-	-	-	
6		福田 (0090-800200)	-	-	-	-	-	-	-	
7		福富 (6020-800100)	-	-	-	-	-	-	-	
8		福富 (6020-800200)	-	-	-	-	-	-	-	
9		新明 (7040-800100)	-	-	-	-	-	-	-	
10		新明(7040- 800200)	-	-	-	-	-	-	-	
11		柳川市	佃町 (0010-000300)	-	-	-	-	0.027	-	-
12			佃町 (0010-000500)	-	-	-	-	0.024	-	-
13	佃町 (0010-000600)		-	-	-	-	0.024	-	-	
14	西蒲池 (0020-000200)		-	-	-	-	0.038	-	-	
15	東蒲池 (0030-000200)		-	-	-	-	0.082	-	-	
16	東蒲池 (0030-000300)		-	-	-	-	<0.01	-	-	
17	蒲生 (0040-000300)		-	-	-	-	-	-	-	
18	高島 (0050-000400)		-	-	-	-	0.036	-	-	
19	吉富町 (0060-000200)		-	-	-	-	0.03	-	-	
20	塩塚 (1010-000600)		-	-	-	-	<0.01	-	-	
21	六合 (1030-000200)		-	-	-	-	<0.01	-	-	
22	中島 (1040-000400)		-	-	-	-	0.085	-	-	
23	起田 (2130-000300)		-	-	-	-	<0.01	-	-	
24	棚町 (2190-000200)		-	-	-	-	<0.01	-	-	
環境基準値 (mg/L 以下)			0.003	不検出	0.01	0.02	0.01	0.0005	不検出	

注 1. 注釈及び出典の内容は表 3.1-41 (4) に示す。

表 3.1-41 (2) 地下水の水質測定結果

No.	市町村	地区名	PCB	ジクロロ メタン	四塩化 炭素	クロロエチレン	1,2- ジクロロ エタン	1,1- ジクロロ エチレン	1,2- ジクロロ エチレン	
			mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	
1	佐賀市	北川副町新郷 (0007-700300)	-	-	-	<0.0002	-	-	<0.008	
2		末広 (0033-700200)	-	-	-	<0.0002	-	-	<0.008	
3	白石町	新拓 (0050-800100)	-	-	-	-	-	-	-	
4		新拓 (0050-800200)	-	-	-	-	-	-	-	
5		福田 (0090-800100)	-	-	-	-	-	-	-	
6		福田 (0090-800200)	-	-	-	-	-	-	-	
7		福富 (6020-800100)	-	-	-	-	-	-	-	
8		福富 (6020-800200)	-	-	-	-	-	-	-	
9		新明 (7040-800100)	-	-	-	-	-	-	-	
10		新明 (7040-800200)	-	-	-	-	-	-	-	
11		柳川市	佃町 (0010-000300)	-	-	-	-	-	-	-
12			佃町 (0010-000500)	-	-	-	-	-	-	-
13	佃町 (0010-000600)		-	-	-	-	-	-	-	
14	西蒲池 (0020-000200)		-	-	-	-	-	-	-	
15	東蒲池 (0030-000200)		-	-	-	-	-	-	-	
16	東蒲池 (0030-000300)		-	-	-	-	-	-	-	
17	蒲生 (0040-000300)		-	-	-	-	-	-	-	
18	高島 (0050-000400)		-	-	-	-	-	-	-	
19	吉富町 (0060-000200)		-	-	-	-	-	-	-	
20	塩塚 (1010-000600)		-	-	-	-	-	-	-	
21	六合 (1030-000200)		-	-	-	-	-	-	-	
22	中島 (1040-000400)		-	-	-	-	-	-	-	
23	起田 (2130-000300)		-	-	-	-	-	-	-	
24	棚町 (2190-000200)		-	-	-	-	-	-	-	
環境基準値 (mg/L 以下)			不検出	0.02	0.002	0.002	0.004	0.1	0.04	

注1. 注釈及び出典の内容は表 3.1-41 (4) に示す。

表 3.1-41 (3) 地下水の水質測定結果

No.	市町村	地区名	1, 1, 1- トリクロロ エタン	1, 1, 2- トリクロロ エタン	トリクロロ エチレン	テトラクロロ エチレン	1, 3- ジクロロ プロペン	チウラム	シマジン	
			mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	
1	佐賀市	北川副町新郷 (0007-700300)	-	-	<0.001	<0.0005	-	-	-	
2		末広 (0033-700200)	-	-	<0.001	<0.0005	-	-	-	
3	白石町	新拓 (0050-800100)	-	-	<0.001	<0.001	-	-	-	
4		新拓 (0050-800200)	-	-	<0.001	<0.001	-	-	-	
5		福田 (0090-800100)	-	-	<0.001	<0.001	-	-	-	
6		福田 (0090-800200)	-	-	<0.001	<0.001	-	-	-	
7		福富 (6020-800100)	-	-	<0.001	<0.001	-	-	-	
8		福富 (6020-800200)	-	-	<0.001	<0.001	-	-	-	
9		新明 (7040-800100)	-	-	<0.001	<0.001	-	-	-	
10		新明 (7040-800200)	-	-	<0.001	<0.001	-	-	-	
11		柳川市	佃町 (0010-000300)	-	-	-	-	-	-	-
12			佃町 (0010-000500)	-	-	-	-	-	-	-
13	佃町 (0010-000600)		-	-	-	-	-	-	-	
14	西蒲池 (0020-000200)		-	-	-	-	-	-	-	
15	東蒲池 (0030-000200)		-	-	-	-	-	-	-	
16	東蒲池 (0030-000300)		-	-	-	-	-	-	-	
17	蒲生 (0040-000300)		-	-	-	-	-	-	-	
18	高島 (0050-000400)		-	-	-	-	-	-	-	
19	吉富町 (0060-000200)		-	-	-	-	-	-	-	
20	塩塚 (1010-000600)		-	-	-	-	-	-	-	
21	六合 (1030-000200)		-	-	-	-	-	-	-	
22	中島 (1040-000400)		-	-	-	-	-	-	-	
23	起田 (2130-000300)		-	-	-	-	-	-	-	
24	棚町 (2190-000200)		-	-	-	-	-	-	-	
環境基準値 (mg/L 以下)			1	0.006	0.01	0.01	0.002	0.006	0.003	

注1. 注釈及び出典の内容は表 3.1-41 (4) に示す。

表 3.1-41 (4) 地下水の水質測定結果

No.	市町村	地区名	チオベン カルブ	ベンゼン	セレン	硝酸性窒素 及び 亜硝酸性窒 素	ふっ素	ほう素	1,4- ジオキサン	
			mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	
1	佐賀市	北川副町新郷 (0007-700300)	-	-	-	0.34	0.34	0.4	-	
2		末広 (0033-700200)	-	-	-	0.11	0.14	<0.1	-	
3	白石町	新拓 (0050-800100)	-	-	-	<0.02	-	-	-	
4		新拓 (0050-800200)	-	-	-	<0.02	-	-	-	
5		福田 (0090-800100)	-	-	-	<0.02	-	-	-	
6		福田 (0090-800200)	-	-	-	<0.02	-	-	-	
7		福富 (6020-800100)	-	-	-	<0.02	-	-	-	
8		福富 (6020-800200)	-	-	-	<0.02	-	-	-	
9		新明 (7040-800100)	-	-	-	<0.02	-	-	-	
10		新明 (7040-800200)	-	-	-	<0.02	-	-	-	
11		柳川市	佃町 (0010-000300)	-	-	-	-	-	-	-
12			佃町 (0010-000500)	-	-	-	-	-	-	-
13	佃町 (0010-000600)		-	-	-	-	-	-	-	
14	西蒲池 (0020-000200)		-	-	-	-	-	-	-	
15	東蒲池 (0030-000200)		-	-	-	-	-	-	-	
16	東蒲池 (0030-000300)		-	-	-	-	-	-	-	
17	蒲生 (0040-000300)		-	-	-	-	-	-	-	
18	高島 (0050-000400)		-	-	-	-	-	-	-	
19	吉富町 (0060-000200)		-	-	-	-	-	-	-	
20	塩塚 (1010-000600)		-	-	-	-	-	-	-	
21	六合 (1030-000200)		-	-	-	-	-	-	-	
22	中島 (1040-000400)		-	-	-	-	-	-	-	
23	起田 (2130-000300)		-	-	-	-	-	-	-	
24	棚町 (2190-000200)		-	-	-	-	-	-	-	
環境基準値 (mg/L 以下)			0.02	0.01	0.01	10	0.8	1	0.05	

注1. 表中の「-」は測定を行っていない項目を示す。

注2. 赤字は基準値を超えた値であることを示す。

注3. 各項目の環境基準については、表 3.2-23 に示すとおりである。

出典：「令和3年度公共用水域及び地下水水質測定結果」(佐賀県 HP)

[https://www.pref.saga.lg.jp/ki\\_ji00314004/index.html](https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji00314004/index.html)

「令和4年度地下水水質測定結果」(福岡県 HP)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/04tikasui.html>

## 2) 地下水の水位

対象事業実施区域及びその周囲における地下水の水位についての測定結果を表 3.1-42 に、地下水位観測地点（観測所）を図 3.1-30 に示す。なお、最大水位変動量（最大値と最小値の差）は対象事業実施区域に最も近い川副観測所において 1.45m となっている。

表 3.1-42 地下水の水位観測結果

No.	地区	観測所	記号	調査開始	地下水位（地表面下）[m]				水位変動量[m]	
					最高	観測日	最低	観測日	最大	年間
1	佐賀地区	諸富	5号	S48	2.56	7/19	3.38	3/7	0.73	-0.10
2			6号		2.03	7/19	2.61	12/29	0.58	0.01
3		川副	F-1	H6	1.59	10/9	3.04	3/4	1.45	-0.08
4	白石地区	新白石	新C-2	H12	0.33	6/6	0.52	11/9, 10, 11, 12, 16, 17, 18	0.19	-0.09
5		新有明	N-2	H2	1.60	6/22	1.86	11/20	0.26	-

注 1. 地下水位は地表面下の深さで表記しており、数値が大きいほど水位が低いことを示す。

注 2. 最大変動量：令和 4 年度中の最高値と最低値の差

注 3. 年間変動量：令和 4 年 3 月 31 日と令和 5 年 3 月 31 日の観測値の差

注 4. 表中の「-」は欠測のため非表示とした。

出典：「令和 4 年度地盤沈下の概況」（佐賀県 HP）<https://www.pref.saga.lg.jp/kiiji00398226/index.html>

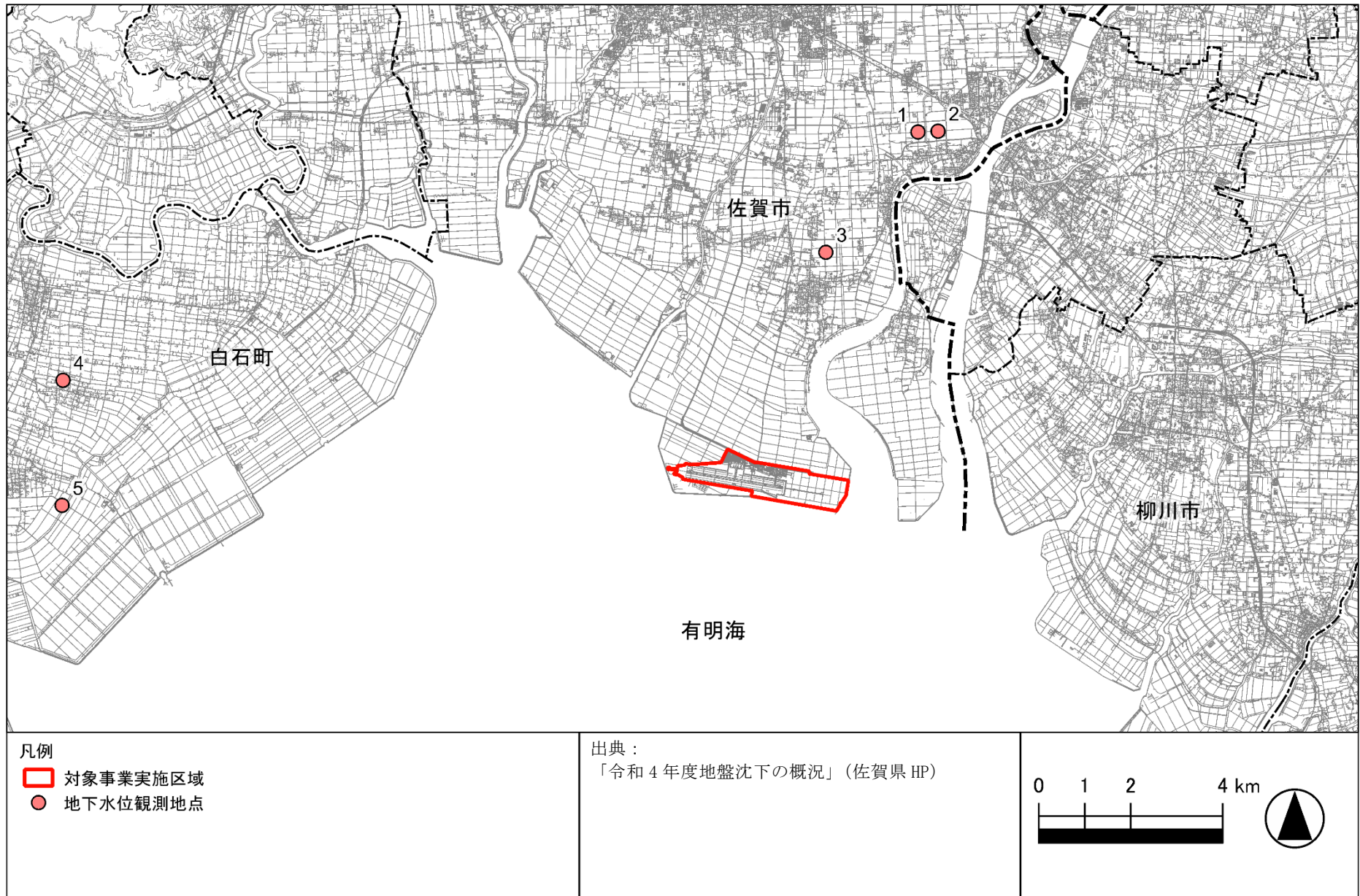


図 3.1-30 地下水観測地点図

#### (4) 水底の底質

対象事業実施区域及びその周囲を流れる河川、海域において、水底の底質に関する測定としてダイオキシン類の測定が行われている。

##### 1) ダイオキシン類

対象事業実施区域及びその周囲を流れる河川、海域におけるダイオキシン類の測定結果は表 3.1-43 に示すとおりである。その結果、すべての地点で環境基準を満足していた。

表 3.1-43 河川・海域の底質におけるダイオキシン類の測定結果

区分	No.	測定地点	水質 [pg-TEQ/L]		底質 [pg-TEQ/g]	
			測定結果	環境基準	測定結果	環境基準
河川	1	瀬の下 (筑後川)	0.11	1 以下	11	150 以下
	2	官人橋 (嘉瀬川)	0.08		0.22	
	3	潮見橋 (六角川)	0.12		1.1	
海域	1	S-7 (有明海)	0.11		15	

注 1. 令和 4 年度は、対象事業実施区域及びその周囲において、海域のダイオキシン類の測定は行なわれていないため、令和 2 年度の結果を引用した。

出典：「令和 2 年度ダイオキシン類調査結果」(佐賀県 HP)  
<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00350717/index.html>  
「令和 4 年度ダイオキシン類調査結果」(佐賀県 HP)  
<http://www.pref.saga.lg.jp/kiji00350717/index.html>

### 3.1.3 土壌及び地盤の状況

#### (1) 土壌

対象事業実施区域及びその周囲における土壌分類図は、図 3.1-31 に示すとおりである。対象事業実施区域及びその周囲では細粒灰色低地土壌が広く分布しており、有明海沿いでは開拓年次の新しい細粒グライ土壌が分布している。

なお、対象事業実施区域及びその周囲のうち、佐賀市及び柳川市においては、土壌汚染対策法（平成 14 年法律第 53 号 最終改正：令和 4 年 6 月 17 日法律第 68 号）第 6 条第 1 項及び第 11 条第 1 項の規定に基づき、土壌中の有害物質の溶出量又は含有量が基準に適合しない土地を、要措置区域又は形質変更時要届出区域等として指定している。



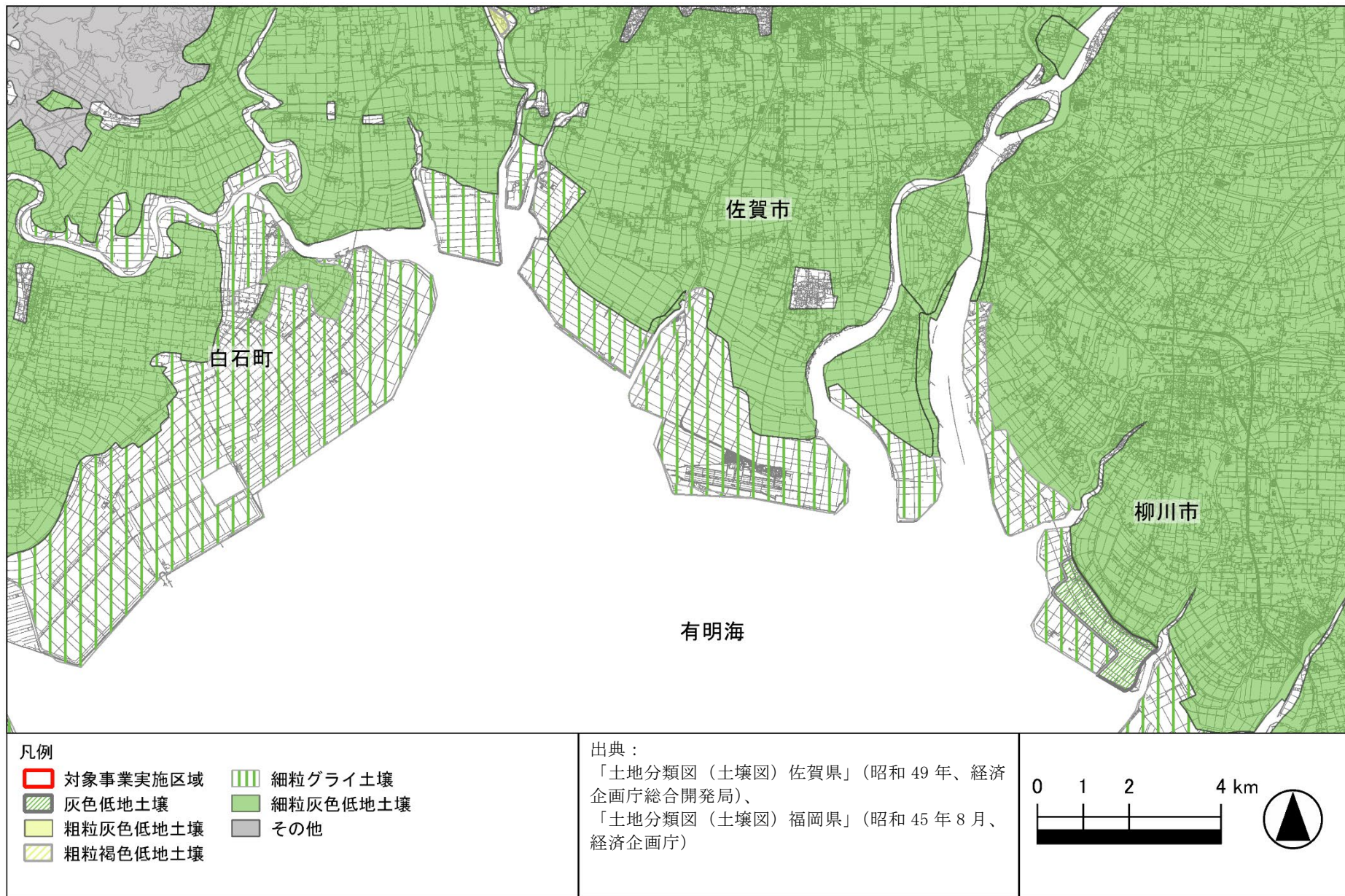


図 3.1-31 土壌分類図

## (2) 地盤

対象事業実施区域及びその周囲の令和 4 年度における地盤高の測定結果は表 3.1-44 に、地盤沈下観測地点（観測所）は、図 3.1-32 に示すとおりである。なお、最大地盤変動量（最高値と最低値の差）は対象事業実施区域に最も近い川副観測所において 14.1 mm となっている。

表 3.1-44 地盤高の変動量観測結果

No.	地区	観測所	記号	調査開始	地盤高[標高 mm]				地盤高変動量[mm]	
					最高	観測日	最低	観測日	最大	年間
1	佐賀地区	諸富	5号	S48	2699.4	7/19	2695.4	1/13	4.0	-0.3
2			6号		2676.3	7/19	2672.1	12/20	4.2	-0.5
3		川副	F-1	H6	2339.7	8/18	2325.6	1/8	14.1	-1.1
4	白石地区	新白石	新C-2	H12	1158.9	8/7	1147.3	6/22	11.6	1.1
5		新有明	N-2	H2	1509.0	8/18	1504.0	11/29	5.0	-0.9

注 1. 最大変動量：令和 4 年度中の最高値と最低値の差

注 2. 年間変動量：令和 4 年 3 月 31 日と令和 5 年 3 月 31 日の観測値の差

出典：「令和 4 年度地盤沈下の概況」（佐賀県 HP）<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00398226/index.html>

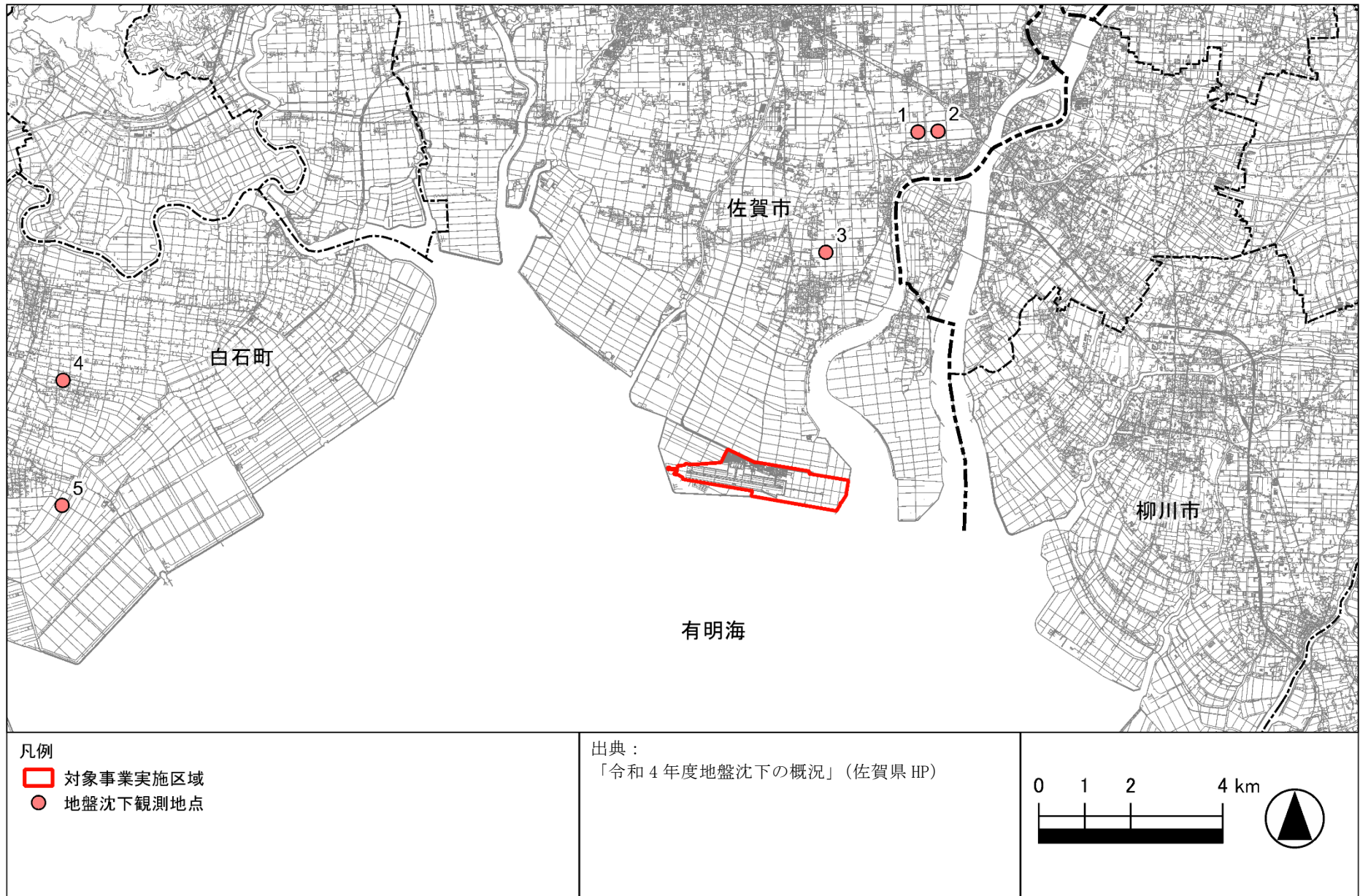


図 3.1-32 地盤沈下観測地点図

### 3.1.4 地形及び地質の状況

#### (1) 地形

対象事業実施区域及びその周囲における地形分類図は、図 3.1-33 に示すとおりである。対象事業実施区域及びその周囲は佐賀平野の南部に位置し、有明海沿岸では干拓地及び埋立地が広がっている。内陸部では、筑後川や嘉瀬川などの河川が運んだ土砂による三角州性低地がある。

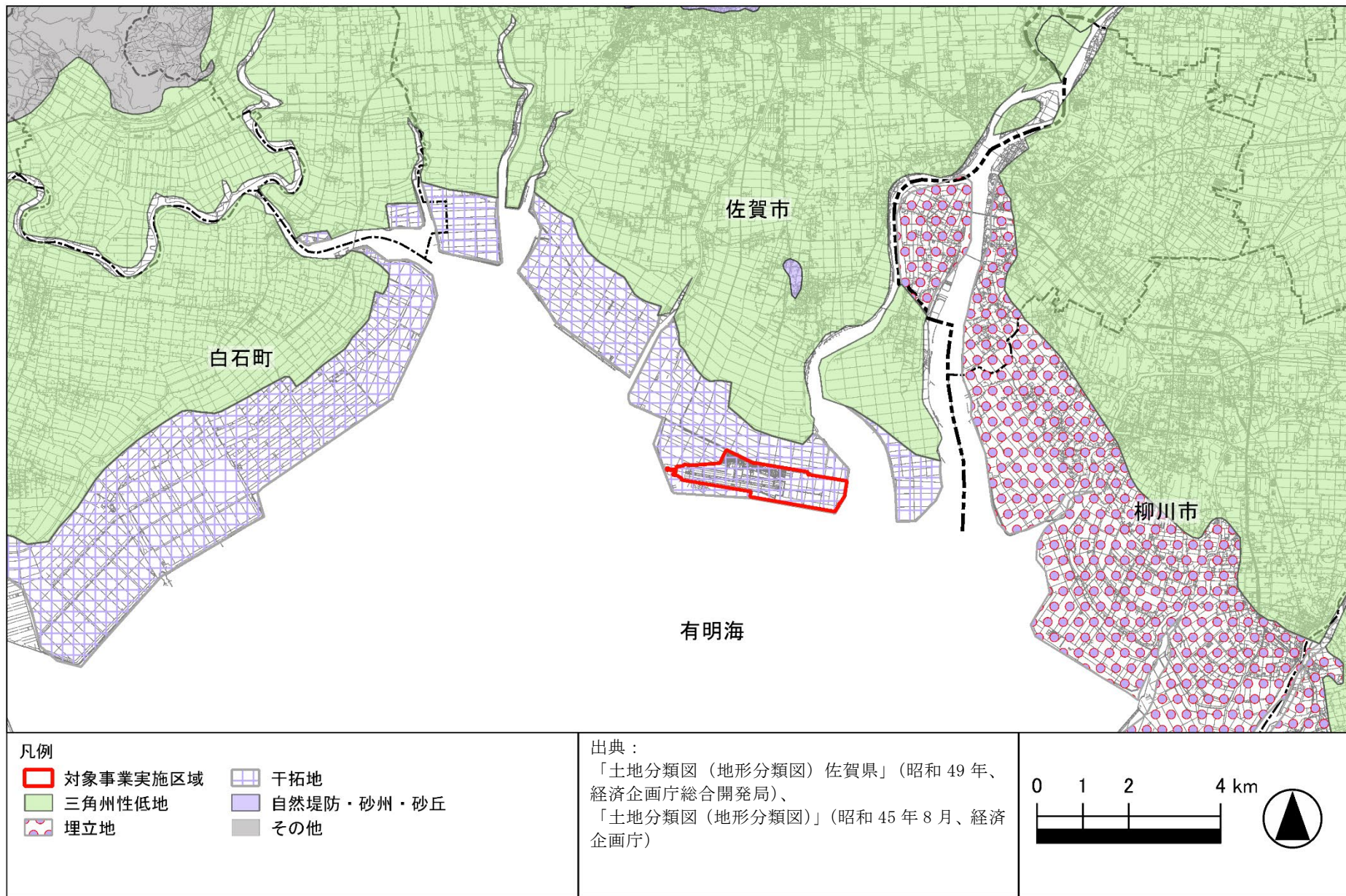


図 3.1-33 地形分類図

## (2) 地質

対象事業実施区域及びその周囲における表層地質分類図は、図 3.1-34 に示すとおりである。対象事業実施区域及びその周囲において、佐賀県側は泥がち堆積物、福岡県側は砂・粘土・淤泥・礫等の沖積堆積物が多く面積を占めている。

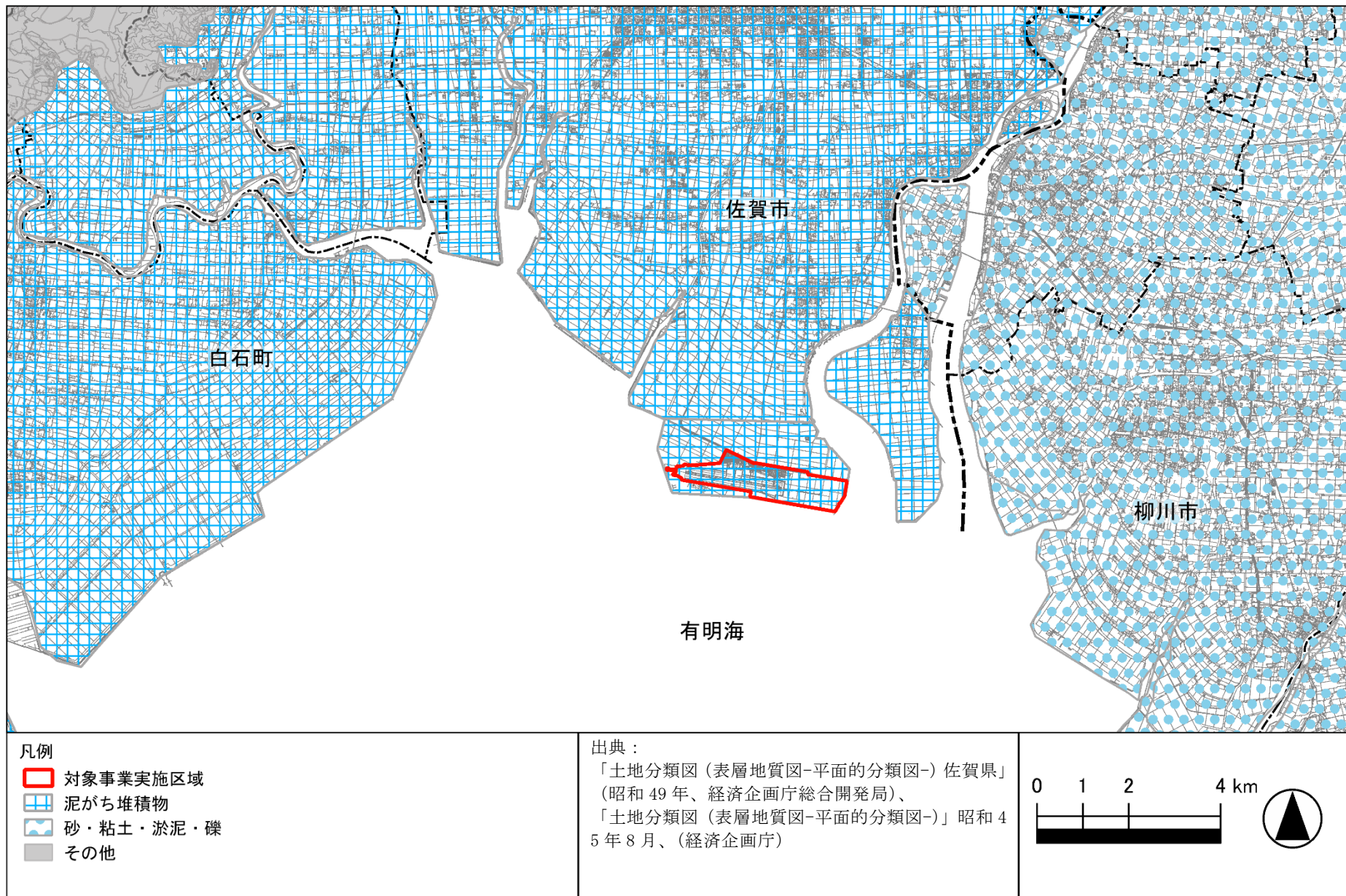


図 3.1-34 表層地質分類図